令和5年度村政懇談会の開催結果について

1　開催概要

月日	地区	会場	村民	議員	村
10月4日	下吉	下吉集会所	7	1	11
10月5日	松陽台	松陽台集会所	13	1	10
10月6日	金山	金山集会所	14	2	11
10月7日	大久保	大久保集会所	15	1	11
10月11日	早稲沢	生活改善センター	11	2	11
10月12日	大塩	活性化センター	15	4	11
10月13日	北山	構造改善センター	17	6	11
10月16日	曽原・狐鷹森	曽原・狐鷹森生活改善センター	22	2	11
10月17日	長峯	長峯交流センター	9	1	11
10月18日	剣ケ峯・秋元	剣ケ峯集会所	24	3	11
10月19日	谷地	谷地集会所	10	2	10
10月20日	蛇平・小野川	蛇平集会所	20	3	11
10月21日	関屋・樟	関屋集会所	11	2	11
10月27日	桧原	桧原集会所	11	2	11
10月31日	両川前	上川前集会所	25	4	11
			224	36	163

2　村長あいさつ

令和5年10月4日から31日まで、合同開催を含めまして行政区を単位として、15会場で村政懇談会を開催しました。村民の皆様には、ご多忙の中、また仕事終わりにも関わらず、224名もの方々にご参加をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

私は、持続可能な村づくりを進めるためには、多くの村民の方々に村政に対して関心をもっていただき、村民と行政が一体となることが必要不可欠であると考えており、村政懇談会を開催したところであります。

今回は、加速化する人口減少の現状や財政状況を共有し、少子化対策、高齢化対策、人口増加対策の3つの視点から、子育て対策の充実、住環境の向上、福祉の充実、観光人口・関係人口の拡大を図る村の今後の方針についてご意見を伺いました。そして、直面する地区の課題等についても実状をお聴きする貴重な機会となりました。

寄せられましたご意見を真摯に受け止め、村政の進展に力を尽くしてまいりますので今後ともご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

令和5年11月
北塩原村長　遠藤　和夫

3　議事録（会場ごと）

〇下吉地区（10 月４日（水）19：08～20：15）

《ラビスパ裏磐梯》

【住　民】ラビスパは今のところプールが使えない状態。使えるようにするのか。会員になっている。1万円で施設が使えたが今は温泉しか使えない。いつになったら使えるのか。夏には子供がきて使っている。どのように考えているか。会員はどの程度いるか。赤字であるが今後どのように運営をしていくのか。子育てという視点でも必要ではないか。

【村　長】プールの営業は昨年の1月から停止をしている。天井の損傷が激しく、鉄板がいつ落下するかわからない危険な状況。営業を始めるには大規模改修をしなければできない。会員は 100 名以下。今後については、皆さんに実情を話し、アンケートも含めこれまで様々な視点で方向性を出そうとしてきた。児童生徒が水泳をする場として使われてきたが、一部分の改修ではどうにもいかない状況にある。屋根を改修するに5億円、全体を修繕すると10億円。10億をかけてでも必要と考え実施設計を行ってきたが、人口減少問題がある中で、ラビスパに費やしていいものか。施策を見直して人口減少の歯止めと、流入の確保が優先ではないかと考え、大規模改修は保留にしたいと考えている。まずは住んでいる環境をよくしたい。数年前に購入した寺ノ前の土地を活用して、官民連携による造成を進めている状況。住宅が建てられれば人がくる。流出に歯止めをかけられる。北山地区には物を買う場所がない。食事をする場所もない。住環境が悪化していることから、村の駅を整備して、買い物・遊び・交流ができる場を優先して進めていきたい旨を全員協議会で説明したところ。整備にあたっては皆さんの声を反映していきたい。

《村の駅構想》

【住　民】村の駅の立地場所は？

【村　長】まだ決まっていない。候補地は地権者との調整を要する。北山地区に整備したい。

《人口減少対策》

【住　民】村外への転出人数は 162 人。どのような人が転出しているか把握しているか。出ていった人がどのような理由かを知る必要がある。

【総企課】福島県のデータがある。県外の 72 名は学生の転出、転勤などが多い。県内は会津管内に 69 名。村外に住宅を建てている状況が多い。

【住　民】転出したのは不便だからなのか。転出した人が多いというだけでは何を提案していいかわからない。分析が必要。

【村　長】転出の理由を聞く手立てはない。村営住宅を出る方には聞いているがすべてを聞けてはいない。村営住宅は収入が増えれば出ていく必要があり、家賃が上がるなら村外のアパートに住むことや住宅を建てたりすることがある。

【住　民】施策の大きな中身をどうするかは、もっと分析をしなければ何とも言えないのではないか。子育てに力を入れるにしてもまずは人を増やす施策が必要ではないか。資料に具体性がない。物流が悪いからではないか。例えば大きい道路を造るのも一つ。

【副村長】会津管内に 69 人のうち、喜多方に 40 人が転出しているという状況からすれば、仕事場

の近くや、生活の利便性を求めて転出していると想像できる。

【住　民】利便性とは言うが、喜多方まで15分しかかからない。物流が優先。

【村　長】いかに流出を防ぐか。その策として北山に買い物をできる場とか遊ぶ場を作りたい。

【住　民】であれば道路が必要ではないか。物流の確保には道路が必要。

【村　長】道路は村ができる分は限られている。人口減少対策に道路も大きな役割を果たすのではないかというご意見とお受けする。

《企業誘致》

【住　民】転出は県内のうち会津内が多いということは、仕事が近いところに行きたがるのか。村には仕事が少ないなどの理由もあるか。村に仕事があって住めて給料が高いことが理想。給料が高ければ家を建てることができる。結局仕事が必要ではないか。山塩は成功した事例。エミュー、チョウザメはだめになった。仕事をつくるような施策はないのか。

【村　長】村としては企業誘致については東京事務所に伺って村への進出企業の情報を聞いている。例えば水が豊富であればそのような企業がないか。ただ、企業誘致してもすぐ来ることは難しい地域。側面での誘致が現状。むしろ就農や起業などに取組んでいきたい。地域おこし協力隊を採用して、起業支援や就農について採用を行っているところ。

【住　民】企業誘致も村が率先して営業をする必要がある。県を通じても意味がない。自ら行かなければ来るわけがない。待っているだけでは来ない。ぜひ企業を誘致してほしい。

【村　長】コロナでなかなかできなかった。トップセールスを行っていきたい。

《財政・財源》

【住　民】お金がないことにはできるものではない。国会議員などにどんどん働きかけてお金を持ってきてほしい。起債ではなく補助金。村の財政は絶対的に足りない。もらってきてほしい。財源の獲得は競争。

【村　長】村の財源だけではすぐに底をつく。事業するには補助金を探すことを徹底させている。何かをやるには補助金に該当するような計画をつくる。村の支出が少なく済むように。国会議員への要望を積極的に進めていきたい。

《桜峠公園》

【住　民】モノを建てるにはよく考える必要がある。桜峠の募集はどうなったのか。

【村　長】10/7 にボランティアで行う。

【住　民】シルバーでやっているが、賃金が安い。村のためだと思ってやっている。水源地の草刈も大変。村はその内容を把握しているのか。

【農林課】桜峠の管理に要する予算が現在 300 万円。以前は 600 万円程であった。昨年は2人体制で行ったが、大変で十分に作業ができず、結果、今年はその方に依頼ができなくなってしまった。桜峠の規模を建設会社に委託すると金額が高くなる。シルバーにも声掛けをしたが結果的に個人委託とした。35 万円/月。村内から2名応募あった。そこに建設会社2名、計4名体制で草刈りを実施。9月に2回目の委託をした。村1名＋建設会社3名の4名体制。ある程度きれいに管理ができている。今週7日にボランティアを募集したら 11 名応募があった。

《農業振興》

【住　民】就農や起業に関する転入の状況は？

【農林課】数名程度。村単独で補助金を設けている。また、国の事業で谷地にハウスができた。村1名＋喜多方1名。今のところ転入には至っていない。

【副村長】観光で 22 名の外国人がホテルに転入。県外全体は 58 名。

【住　民】JA と共同で村の特産品の開発はどうなのか？高原野菜をよく買っている。観光客にも人気。JA との連携など動いているのか。

【村　長】JA とは 17 市町村で連携している。残念ながら北山のキュウリは会津キュウリという取扱いになってしまう。東京農業大学との包括連携協定の中でブランド品の開発を進めたい。とうもろこしの美味さは間違いないが生産量が少ないと全国的な販売に繋がらない。生産量を画期的に増やして供給を増やすとこが、村のブランド農作物の在り方を考えていきたい。それには農大のノウハウが必要。

【住　民】結局は法人化しないと意味がない。ブランド化には量だけではない。

【住　民】（地区の方）の畑に作物を作る予定だったが駄目になった。なぜ？荒れ放題。

【農林課】把握していない。調べて回答する。

【副村長】権利関係の障壁か、又は農業委員会の手続きか。権利関係であると村認知は困難。

【住　民】おそらく権利が入り組んでいるからだと思われる。

《村道整備》

【住　民】昨年要望した道路の拡幅工事はどうなっているのか。

【建設課】今年度、測量設計を発注。来年度以降現場を進めていきたい。

【住　民】災害でお墓の下（赤城製作所の脇）だけやっていない。何年も要望している。直してほしい。

【村　長】現場を確認する。

《人口減少対策》

【住　民】人口減少はどうにもならない。息子がいない。人間関係が煩わしいなど問題が様々。世の中が変わってしまった。考えてもダメ。

【村　長】人口減少は止められない。ただ緩やかにすることはできる。このままでは歯止めが利かない。そのために何をするか。買い物、食事、遊び場など安心して生活できる環境をつくりたい。土地がないから出ていった人もいる。6月にアンケートしたら 13 世帯が家を建てたいと考えている人がいる。土地がなければ出ていってしまうなら、それを止めることができる。

【住　民】村の考えをみんなに共有してほしい。そのうえでどう行動するか。

《村の駅構想》

【住　民】買い物するところが欲しい。銘木食堂が無くなってから集まりは熊倉にいっている。集まる場、買い物、食事できる場を早く作ってほしい。期待している。小さいことからコツコツと進めてほしい。

○ 松陽台地区(10 月 5 日(木)19:10～20:35)

《その他》

【住　民】どういう組織で資料を作成したのか。プロジェクトチームか。担当課か。

【総企課】企画室で作成し課長会議で協議した。

《村の駅構想》

【住　民】村の駅とはなにか。候補地は決まっているのか。

【村　長】北山地区に買い物する場、遊ぶ場、交流の場がなく住環境に不便さがある。それを解消するための施設として村の駅を整備して、生活の利便性を高めることを考えている。
北山地区への整備を検討している。

【住　民】拠点は北山とのことだか、地域が4つにわかれている。
北山に整備すればそちらにもほしいとならないか。

【村　長】村が店舗を運営することは困難。スーパーなどにかけあって出店を願ったが、人口が少ないことから難しいとの見解をいただいている。ただ商品の供給については了承いただいていることから、そのような形式での運営を検討しているところ。エリアを考えた時に北山・大塩だけでは事業経営は難しい。桧原・裏磐梯地区にも利用していただけるような仕組みを考えている。

《その他》

【住　民】日本で最も美しい村から脱退をした。その理由はなにか？説明を願う。

【村　長】3/31 に脱退をした。加盟の目的を裏磐梯が有する自然景観によるものであると思っている村民が多い。しかし実際の登録資源は、後世に残す財産として、米澤街道と早稲沢の畑であった。加盟していることで年間 100 万円の予算を要する。財政の見直しを図る観点からも、加盟せずとも風光明媚な観光資源をより PR していくかに方針を変えた。

【住　民】今の説明は新しい村づくり精神の基本になる。
村民が再認識して目標に向かって進んでいくことが大切だと感じている。

《墓地公園・松陽台NT・公民館》

【住　民】①墓地公園購入時の設置条件に変更はあるか。地下何mまで掘っていいのか。
②マスクをもらったが、保証期限が切れていた。村ではわかって配っていたのか。
③公民館の事業で桑折町西山城に行った。事前に調べたかったが、公民館に文献がなかった。それに対する回答も無かった。
④松陽台の建築協定(セットバック)について変更したか。
協定に基づかない設置が見受けられる。

【住民課】①変わっていないと思うが高さや埋設する分について確認してから回答する。自由区画と規格区画のサイズについて事前に説明したうえで行っているところ。※個別対応
②指摘されて初めて気づいた。お詫びする。コロナの際に共同購入したもの。3年位前購入であったことから期限は問題ないと思っていた。

【教育課】③事前に調べたいとのことだったが図書として扱っておらず申し訳なかった。その点についても配慮したうえで対応していきたい。

【総企課】④変更はしていない。そのような方が実際いるのであれば、確認したい。

【住　民】協定に基づかない場合は所有者がやるのか。所有者がやらないのなら、行政が強制的に執行するのか。

【総企課】所有者にやっていただく。行政が強制にやることがないようにしていきたい。

《村営住宅》

【住　民】松陽台の村営住宅はかなり空いている。村外から来ないと人は増えない。どのように考えているのか。

【建設課】数年前までは空きがなかった。募集をしても埋まらない。建設時、低所得者向けに作っていることから、入居者の収入要件による部分が原因と思われる。今後は住宅の制度について緩和されるような対策を進めていきたい。

【住　民】家賃が5万円になれば喜多方のアパートに行ってしまう。家賃の差額を村で補助するとかでもいいのでは？これも人口減少問題の一つ。何らかの対策が必要。空いているのがもったいない。人に住んでもらえるようにしていただきたい。

【住　民】24 戸中8戸空いている。村の裁量で変更はできないのか。

【建設課】建設当時の補助金の要件を変更できないのが現状。国交省と調整をしている段階。

【住　民】若者が収入を増やすために頑張っているのに、収入が増えたら出ていかなければならないような制度にするのか。

【住　民】公営住宅法の枠組み。おっしゃることはわかるが国の制度を変えるのは大変。現実的には広報に力を入れて、空きを解消することが先決か。返済は終わっているのであれば村が財産処分をしていかようにでも使えればいいのではないか。

【建設課】様々な要件が重なっている。解消するように努めたい。

【住　民】村の村営住宅のレベルは大変よい。樹木の放置も問題。村がすべきことがなされていないことも事実。このままだと有害鳥獣も来る。

【住　民】前から何回言ってもやられていないのが現状。仕方なく行政区で実施してきた。今もでもしているが、そのことはおかしいといっている。議員にも言ってきた。今、裏磐梯に若者住宅を建てているが、これだけ空きがあるのになぜ建てているのか。

【村　長】条件緩和が村の判断でできないかを国交省と協議している。借金を償還すれば村の財産になりうるがかなりの金額。現在はいかにして広報に力をいれるかが必要。環境の整備は担当課に話して徹底するようにしていきたい。裏磐梯には戸建て4棟の建築を進めている。ニーズ調査の結果、需要があることがわかったことから進めているもの。
寺ノ前については、数年前に住宅を建設するとのことから土地を求めたが手つかず状態。今年度アンケート調査をしたら 13 世帯が建てたいと意見をもらった。官民連携で造成から建売を進めている。村として全く関係ないものを行っているわけではない。

《ラビスパ裏磐梯》

【副村長】ラビスパ裏磐梯の大規模改修について意見は無いか。

【住　民】事実関係を知りたい。実施設計は発注済か。

【総企課】発注済。現在設計中。1月に納品予定。昨年が基本設計。施工には 10 億円がかかる見込み。今回見直したい点は、10 億円を別な優先事業に振り替えたいというのが村の考え。

【住　民】見直すとはどのようなイメージか。凍結か、規模縮小か。

【村　長】現時点では保留と考えている。皆さんに大変心配頂いている事案。これまでの経過を説明すると、プールゾーンの屋根の鉄骨部分について危険性が判明した。その修繕だけで5億円が必要。それ以外にも施設に老朽化が散見される。であるならば全体を改修することを想定し、その結果 10 億円を要するとなった。学校のプール利用や村民の福祉利用、お風呂や宴会などの利用もあり、アンケートでも半数以上が存続を希望したことから議会と調整しこれまで進んできた。しかし、人口減少問題という村の存続の危機が目の前にせまった時に、ラビスパ裏磐梯の改修は保留すべきではないかという考えに至った。それらのことから、今回、村民の皆さんに説明をさせて頂いているところ。よって、一旦保留とするが、いつまでもそのままにはできない。全てを精査したうえで、あらたな局面を迎えることになると思う。

【住　民】村長のいう通りだと思う。黒字経営ではなく赤字であった。その施設に 10 億円をつぎこんではいけない。人口減少にお金を使うべき。

《人口減少対策》

【住　民】R4村外転出 162 人。そのうち会津に 69 人。高校生になると若松に通う。そういった点からも転出する傾向がある。その辺の対策も必要ではないか。

【住　民】この村は大変素晴らしい村。心からそう思っている。ここにいらっしゃる人も含めて民度が高い。共助の文化が高い。人はやさしく、生活がしやすい。買い物、通院のサービスレベルも都会より便利。子育て環境や教育方針も素晴らしく、制度も充実している。

裏磐梯は軽井沢に匹敵するエリアで首都圏の人が魅力を感じている。強みの再確認が必要。それを売りにした雇用の創出が必要ではないか。企業誘致という考えではなく、少しずつ稼げる方法。村で 300 万円の収入は都会の 600 万円に匹敵する。可処分所得であきらか。手に職がある人をPRして連れてくる。コロナ以降、テレワークは大変進んでいる。そのようなことをできる会社もある。課長以上で分担して営業すれば可能性がある。

村には強みがたくさんある。山塩もその一つ。上手にPRしてほしい。高齢化も実は強み。弱みではない。村の駅ができた際は、野菜の下ごしらえや弁当作りなど上手にやりくりすれば仕事としてなりたつ。介護支援などの社会サービスも仕事としてありうる。少しずつ身の丈に合った方法で進めた方がよい。スーパーの誘致は企業の論理。第二のラビスパにならないように、空いている施設を有効活用するべき。あたらしいハコモノを建てるやめた方がいい。まずはスモールスタート。具体的なことを様々考えていると思うが、大塩幼稚園などを改修することで使えるものも多い。取捨選別して活用することが重要。

《村の駅・むらづくり等》

【副村長】村のよさ、魅力について伺った。村の駅についてご意見は。

【住　民】村営住宅に住んでみたらとてもいい村と認識している人が多い。出ていきたくなくても家賃が高くなって出ていく人が多い。そのような意見を大切にしてほしい。若い人を呼び込む対策を。ラビスパはなぜ宿泊ができないのか。

【村　長】裏磐梯に宿泊施設が多くあり、民業を圧迫することはしないように配慮した施設とした。

【住　民】雑魚寝できるような施設があれば助かる人もいる。ワカサギ釣りにせっかく来ているのに、素泊まりできず、日帰りする人が多い。雇用にもつながることから活用できる視点を。

【住　民】住んでみたい村の魅力づくりの話があった。道路の雑草も気になる。他人の土地であるこ

とからなかなかできないのはわかるが対策が必要。きれいな環境づくりに対する案を願う。シルバーの会員が少なく大きな仕事ができない。村の人の意識を高める呼びかけを願う。シルバーでは試行錯誤しているが限界。ネーミングを変えるのもいいかもしれない。

【農林課】これまではそこに圃場を持っている農家の方が地域の為にボランティアで刈ってきた。村においては地区の方と話し合い、令和元年度に中山間地域等直接支払制度・多面的機能支払制度・環境保全型農業直接支払制度、これを日本型直接支払制度というが、村一本にまとめて令和2年度から日本型直接支払制度において農地の維持する活動をしている。そのような制度を活用して農地保全等を進めていきたい。

【村　長】環境整備の一つとして 10/7 に桜峠のボランティアを募集して草刈りを行う予定。この村においてはボランティアの関心を高める必要がある。その精神を持ってほしいと考えている。誇りある村を自分たちで作る考えを持ってもらいたいと願っている。私も村をどのようにPRして繋いでいくかの視点を持つことが大切だと考えている。地域のことは地域の方が考える制度作りを進めていきたい。このような機会を重ねながら、皆さんと共に進めていきたい。

【副村長】女性の視点からも意見をいただきたい。

【住　民】寺ノ前に建売住宅をすすめていると聞いた。若者限定などの制限はあるのか。

【村　長】民間事業者に任せており、制限はない。

【住　民】松陽台について、空き地がまだある。村で建てるように指導はできないのか。契約の問題。声掛けが必要。

【総企課】荒れた用地については文書による通知など指導をしてきた。少しずつ解消されている。建てることに対する指摘はできていない。区長からも指摘されており前向きに検討したい。

【住　民】上下水道環境のPRにも力を入れてほしい。

【住　民】認定こども園の整備見直しとは何か。公共交通の再編とはさらに変更するのか。

【総企課】当初、桧原・裏磐梯地区に予定していたが、既存の施設を活用した整備を検討したいということ。公共交通はデマンド交通などの視点を考えながら検討するということ。

【住　民】正直、バスに乗っている人を見かけない。利用されるようにしてほしい。

【総企課】9/25～29 にかけて、全便の乗降調査とヒアリングを行った。その結果、一日当たり 30～50 人の利用があることが分かった。その中でも、利用が少ない時間帯や、ヒアリングから新たな検討を要する必要がわかった。その点を踏まえ再編を検討したい。

【区　長】きめ細やか除雪体制とは何か。

【村　長】北山地区の積雪量は少ないが、裏磐梯地区は高齢者が負担を感じている人もいる。村営住宅の除雪も村ではやっていない。裏磐梯では住人がお金を出し合って除雪をしている事実もある。それが理由で離れる原因となるのであれば、その辺もきめ細やかな除雪ができるように考えていくというもの。

【住　民】自宅への風力発電設置は認めるのか。建てたいと考えている。

【副村長】建築協定時は想定していなことから制限などは現在ない。規模によって個別に判断されるものと理解。周辺住民との調整も必要。総務企画課で受け付ける。

【住　民】その際には区長にも行ってほしい。区としての見解も必要。

○ 金山地区(10 月 6 日(金)19:14～20:36)

《ラビスパ裏磐梯》

【住 民】ラビスパの改修はいくらほどかかる事業なのか。

【村 長】プールゾーンの屋根の老朽が激しく、交換を想定していたが、耐久診断をした結果、鉄骨の限界が判明し、その部分の改修で5億円かかる。他の躯体や設備についても修繕を進める必要があり、その額は 10 億円となる。国の補助金を半分充てたとしても自主財源の多くの負担が生じるが、それでもラビスパの機能を充実させて観光客に利用していただくための実施設計をすすめてきた。しかし、昨今の人口減少を考慮した結果、保留にしたい旨を議会に説明し、別な事業に振り替えたいと考えている。

【住 民】収益を考えれば 10 億円は大きいか。

【村 長】地元議員が回覧などでも指摘してきたラビスパに関する事情はご存じのことと思う。建築当時から相当な金額はかかっていたが、裏磐梯地区にくる観光客の屋内施設、また村民の福祉施設などとして運用されてきた。当初は 15 万人の利用、コロナ前までは5万人、プールゾーンを営業しなくなってからでも1万7千人の利用はあったが、大規模修繕にあたってはここで一旦立ち止まって皆さんの意見をいただければと思う。

《人口減少》

【住 民】加速する人口減少とは若い人が住んで働いて子育てをすることにならないから定着しない。資料のような漠然とした案ではなくて、具体的な対策を示す必要があるのではないか。裏磐梯の学校は複式になっている。そんな中で、教育環境の充実とはなんなのか。子供を育てる親心を考えれば、統合などの検討も必要ではないか。行政は具体的に示さないから形にならない。村長就任4年目にして初めてこのような会を設けた。これからの若い人は外に出て仕事するのだから、そのような環境を考えなければ村は本当に消滅する。

【村 長】おっしゃるように村を選んでいいのだと思える環境にしたい。村長就任後、すぐに学校給食の無償化を他の自治体に先駆けて実施してきた。これから子育てするにあたって、今の支援制度を見直して、若い方々に安心感を与える制度を考えていきたい。さくら小学校でも同じ。中学校にあがったタイミングで他の学校に転校する子が多い。好きな部活ができないからなどの理由がある。子供が増えれば部活が復活することもあるが、減少しているのが現状。他の地域に流出しないように、官民連携で住宅用地を造成したい。それにより、人口流出防止と、他の地域から村へ呼びたい。そのような施策の充実を図っていきたい。

《村の駅構想》

【住 民】村の駅とは何か。どこに、どのようなものをつくるのか。

【村 長】村長選公約の一つ。北山地区に買い物できる場、食堂、子供を遊ばせる場がない状況。住宅を整備しても、周りの環境が不便であれば意味がないことから、そのようなことができる複合施設を北山地区に整備したい考え。

【住 民】それは、企業を誘致するのか。それとも直営か。喜多方市関柴地区にスーパーがあったがなぜ辞めたのか。

【村 長】後継者問題で辞めたと聞いている。私の考えはスーパーに出店を願いたく、これまで掛け合ってきた経緯があるが、難しいとの見解が示された。50 万円/日が最低必要。それであ

っても、設備投資の回収は難しい。その反面、商品の供給管理は可能との声はもらっている。もしくはコンビニ。立地条件に対する好感触を頂いている。運営は民間等に委ねたい考え。

《地域振興》

【住　民】私が小学生のころの人口は 5,400 人。今は 2,370 人。歴代の村長、議員の方々は選挙の時は後継者が残れる施策をするとずっと言っていた。その繰り返し。前村長の時に企業誘致という話があったがどうなったのかわからない。企業誘致して勤める場所を確保する必要がある。高校になればみんな転出する。それが原因ではないか。企業誘致は個人ではできない。行政でお願いしたい。働く場の確保が人口減少対策の一番近道ではないか。

【村　長】働く場の確保が一番であると考え、先日東京事務所に伺った。村の資源である水や農産物を生かした誘致を願ったところ。しかし、喜多方の工場団地にもなかなかきていないというのが現状。村が造成したところで、叶わない現実もある。しかし、可能性は低くとも誘致活動は続けていきたい。喜多方に企業が来れば留まる可能性もある。喜多方市との施設連携を行う定住自立圏構想の中で連携していく。

《空き家対策》

【住　民】空き家バンクがあるが、金山にも数件ある。空き家を永住ではなく、手入れをして夏場に観光客が多いから、短期で泊まれる施設に直すのもいいのでは。別荘を願う人もいる。そのようなお客さんを相手に商売ができる。ロッジのようなものはどうか。

【村　長】村としては空き家の利活用として、村が空き家を所有者から借上げ、村が改修し、移住者に貸すという事業をスタートさせた。宿泊業となるとそれを生業にしている人もいることから、民業圧迫につながる可能性もある。多角的な視点から検討していきたい。

【総企課】空き家バンクの活用方法として、売買・賃貸という方法で設置しており、移住コーディネーターがマッチングを進めている。

【副村長】所有者の希望に沿った形で空き家の活用をすすめていきたい。

《地域振興》

【住　民】湖底調査などから桧原歴史館に結構来ていただいている。ラーメンを食べにくると資料館を観覧する。他にも鳥居の観光などもあり、金山に多くの観光客がきていることに感心している。いまこそ村おこしとして、ラーメンを待っている人に対して何かできないか。コーヒーショップ、金山での生活の歴史 PR、地元野菜の出店など様々。そのようなことができる店が欲しい。みんなで考えれば何かできるかと考えている。

【村　長】金山は村の中でも特にスポットがあたっているエリア。例えば、空き家に少し手を加えればお客さんが来る施設になる。可能であるならば皆さん共同で改修をして、コーヒーを売ったり直売をしたりするのはどうか。金山は可能性がある。ラーメンを求めて何万人もくる、地域の宝。タッグを組んでぜひ進めていただきたい。行政が入ると時間がかかる。地権者、議会、予算を考えると数年かかる。ぜひ地域で輝く人生の一部を進めてほしい。

【副村長】歴史館運営協議会で考えているようなことがあればおきかせいただきたい。

【住　民】ラーメンは水物。やはり桧原歴史館は資料館として管理したい。メインが資料館になるように行政の方で新たな魅力の展示を頑張ってもらいたい。ずっと更新がされていない。坑道

の跡地などをつくって桧原歴史館との連動、湖水の PR。行政に期待し、我々は管理を頑張りたい。

【村 長】展示物は現代にあった歴史の展示物に見直すよう指示をしている。進めていきたい。

【住 民】山神社の入り口が分かりづらい。看板を建てられないか。

【住 民】郷土史研究会で建てたが見えなくなっている。

【村 長】政教分離の観点から、村でやるのは難しい。村で建てられるかどうかの確認を県に対し行ってみる。その旨区長に報告するが、設置は区でお願いしたい。

【住 民】裏磐梯観光協会でやってくれた経緯がある。確認してほしい。

【村 長】看板を建てると次は駐車場の問題もあるか。

《雇用確保》

【住 民】勤めに出ているが、身近に職場がないのが懸念。村で探すのは厳しい。給料面でも不満。村で探すには妥協が必要。これから家族を持った時に生活ができない。30 キロかけて猪苗代に通っている。燃料代もかかる。辞めている人もいて、給与の面からも郡山に行く傾向がある。稼げる企業が近場に欲しい。

【村 長】雇用先として水準が高いのは理想。雇用環境については企業誘致が成功すればありがたいところ。今後も働きかけを進めていきたい。
観光施設、田園風景について魅力を感じる企業がいるかもしれない。

《旧明大セミナーハウス》

【住 民】旧明大セミナーハウスは空きになってどのくらいになったか。今後の利用は？

【村 長】村の財産であることから何社かに声をかけているがなかなかつながらない。建物もカビが繁殖している。仮に活用するとなればお金をかける必要がると思われる。声掛けは続けていきたいと考えている。体育館は十分使えると考えている。

【住 民】時間がたてば条件が悪くなる。活用の方法を考えてほしい。

《子育て環境》

【住 民】喜多方も子供を遊べる場をつくっている。ラビスパあたりにつくるのはどうなのか。
村に子どもが遊ぶ場がない。

【村 長】喜多方の施設は喜多方市で管理しているが、（定住自立圏協定ビジョンにより村民は無料）村民に使っていただくのが一番。村の駅に考えているのは屋外の遊び場を考えている。五色沼東園地の上質化の中で公園（アスレチック）をつくる計画がある。裏磐梯の観光を伸ばしていきたい。景観も問題。自然が一番だが木々が伸びている。伐採ができるように進めている。観光拠点も国と共にすすめている。その方々を金山周辺に周遊させるなど滞在型の村づくりをすることが私の考え。

《ラビスパ裏磐梯》

【副村長】村長が話した構想をまずは進めていく。
一旦立ち止まることとするラビスパについて意見はどうか。

【住 民】売上をよくしようと考えているのはわかる。ただ、村民がどれだけ利用しているのか。赤字にならないようにしているのか。それでも赤字。であるならばやる意味がないのではない

か。直すのにもお金がかかるなら壊して花見ができるような公園をつくるのがいいのでは。今がけじめをつける時だと思う。この先、直して営業して満足な収入が得られるのか。私は無い方がいいと思う。建物も壊れている箇所が多い。利用したくなくなる。

【住　民】送迎＋宴会してくれるから利用しているがおいしくないという声も聞く。もう少し考えてくれるといい。

【住　民】桜峠があるが、毎年どのくらいの観光客が来るか。増えているのか、減っているのか。

【商観課】開花時期にもよるが駐車場料金を徴収する額が増えており、増えていると思われる。

【住　民】桜を見る方は、ラビスパを利用しないのか？

【商観課】温泉利用促進のためキャッシュバックなどもしているが、桜を見る方とラビスパを利用する方はリンクしない。

《旧明大セミナーハウス》

【住　民】旧明大セミナーハウスのグラウンドの整備はしているか。

【総企課】桧原行政区に委託して草刈りはしている。

【住　民】長寿会でグラウンドゴルフの練習をしている。早稲沢を使っているが、夏季合宿時期は利用できない。その代わり明大セミナーハウスをつかっているが、整地ができればお願いしたい。

【村　長】桧原の方からも言われている。やったとしても維持管理を誰がするのかが問題。長寿会の方々がしていただけるのであればありがたい。村でやるのは手が回らないのが現状。一度きれいにした経緯があるが、今はもう荒れている。

【住　民】草刈は年何回か？

【総企課】年2回行っている。

《情報発信》

【住　民】村長に裏磐梯の魅力を言ってほしい。

【村　長】自然だと認識している。

【住　民】裏磐梯の自然の魅力とは何か。

【村　長】磐梯山と湖沼群だと思う。

【住　民】その魅力をもっと発信してほしい。村の名称変更するくらい思い切って変えてはどうか？湖沼群は間違いなく魅力。それがもっと表立って発信することが弱いことが気になる。河口壁の写真を撮ることができるのが桧原歴史館くらいしかない。剣ヶ峯のあたりでくつろげる空間が欲しい。合同庁舎の一番見晴らしのいい場所をカフェにしては？みんなにくつろいでもらえるようなスペース。

【村　長】村が発信力を高めることは必要であると考えている。

《除雪》

【住　民】除雪、道路に近い家は際までやってもらえるが、離れている人は大変。
なんとかならないか。

【村　長】気持ちはわかるが敷地の問題か。ただ、高齢者もいらっしゃることから、きめ細やかな除雪を考えていきたい。

○ 大久保地区(10 月7日(土)18:17～19:54)

《地域振興》

【住　民】大塩小学校を無くしたのが人口減少の原因。裏磐梯にばっかり予算を使っている。税収があるからという理由はわかる。ただ、観光収入が入る以前は北山・大塩の税収で裏磐梯の観光振興に使った。そもそも北山の事業をやめて裏磐梯に予算を持っていくのは問題。議員の資質。北山の議員が住宅用地をどうすると質問をしていることも問題。村長もそうさせてはいけない。何を考えているのか。学校がないところに人は来ない。孫は学校の近くではないと嫁に行かせないという人もいる。もう少し予算の使い方を公平にしてほしい。農業公社をつぶしたのも問題。ありえない。

【村　長】学校が無くなったことによる人口減少は確かにあると思われるが、今大塩に復活することは難しい。北山地区の買収した土地は官民連携で家が建てられるように進めている。それがうまくいけば他の用地(村西)にも行う予定。北山地区の道路を通すことに反対する議員が多く、中止は致し方無かった。予算を裏磐梯地区にしたのは、需要があることが判明したことから優先し、その後に北山を行う予定とした。今年、住宅に関するアンケートを行った結果、13 世帯から希望する結果がでたところ。

《村の駅構想》

【副村長】村長より、村の駅の構想について説明願う。

【村　長】買い物、遊び場、交流、飲食など住みやすい環境をつくることが村の駅の構想。今、買い物は喜多方まで行かないと購入ができない。生活の利便性を高めれば、村営住宅からの流出を防ぐことができると考えている。他の自治体からの流入も見込め、選ばれる村づくりが図られる。ラビスパの大規模修繕よりも生活水準の向上を図ることが優先事項であろうとの認識から進めたいと考えおり、議会とも協議を行った。皆さんのご意見を踏まえ実現していきたい。

【住　民】村の駅ということだと運営はどこがやるのか。

【村　長】全体の運営は(株) ラビスパもあるし、民間への委託も考えられるがまだ決めていない。

【住　民】建物をつくるといつかは壊れる。その時、修繕費も多くかかる。国の補助金であったとしても税金ではある。村の駅構想は前向きでいいと思うが、収支のバランスがとれないと継続が難しく、その辺を十分に検討しなければならない。人口は減っていく。ラビスパのように先々の子孫に負担になるような施設にはしないでいただきたい。企業として本当に成り立つのか。成り立たない時は税金で補填することになり、それは避けてほしい。

【村　長】まさにそのような視点は大切。これまで村の駅構想では、スーパーの進出を検討してきた経緯がある。その結果、世帯数が少ないことから出店が難しいと言われた。その場合は商品供給＋管理を願うか、またはコンビニも検討している。コンビニには、村の商品の提供など、村の意向を十分取り入れることができる。50 万円/日になるであろうというお墨付きをもらっている。施設の管理は別問題だか、十分検討していきたい。

【住　民】見積額は把握しているか。

【村　長】概算で、6億程度かと思っているが、まだ検討の段階。国の補助制度も活用したい。

【住　民】村の中に交流する場は必要不可欠。提案はとてもいいが、具体的に進めるのであれば、コンサルなどに依頼するなどしっかり進めてほしい。ラビスパの二の舞にならないように。

手を挙げてくれる事業者を見極めてほしい。企業誘致の構想はないか？

【村　長】これまで他の地区からも声は挙がっている。東京事務所に訪問し、状況を伺っている。水や農産物を資源とした企業へのアプローチを話しているところ。働く場の確保は必要であると認識している。

《ラビスパ裏磐梯》

【住　民】ラビスパの大規模改修がなくなった時、健康増進施設はどのように考えているか。

【村　長】ラビスパは保留としている。しかし、保留にすることでどのような負担がでてくるかを十分検討する必要がある。そのうえで、継続、中止を考えなければならない。ただ、村の駅を進めながらラビスパを同時に進めることは難しいことは想定される。どこかのタイミングで判断は必要。

【住　民】村の駅に健康増進施設はないのか。

【村　長】無いことはない。検討材料になることからそのような皆さんの意見を大切にしていきたい。

【住　民】風呂だけを残したら健康増進施設でなくなる。動かさなければ復活はありえないのではないか。引きずってもお金がかかるだけ。村のためにならない。

【住　民】俺もそう思う。

【住　民】資料にいろいろ書いてあるが選挙と同じで具体性がない。もっと具体的な事業を提案してほしい。これまでも同じで全く期待できない。考えているだけでは説得力がなく光明が見えない。人材不足で部落の人足や維持管理が厳しい。みんなで頑張ろうという旗挙げだけでは続かない。期待できる成果も含めて積み重ねればいい村になっていく。

【村　長】大変貴重な意見。学校給食の無償化などいろいろあるが、これらを踏まえて新たな支援を考えている。村内で家を建てるにも補助するようなスキームも考えている。

【住　民】伝え方も必要。村民に伝わるように。村民は地域のことを考えており、村の思う気持ちがある。見えてくればみんな応援してくれる。

【住　民】この資料は入り口なのだと思う。これを基軸に膨れ上がってくるんだろう。議会に諮っておこなうより、村の中で協議会をつくって議論するのもいいのではないか。例えば安心して出産できる体制づくりとあるが産科医が少ない。村は何をするのかが見えない。協議会のようなもので意見がまとまれば議会も通しやすいのではないか。

【住　民】総合振興計画に携わったことがあるが、コンサルはだめ。その時のことしか考えていない。村と議員で話していたところで何も進まない。協議会などをして実際に関わる人を入れていかなければならない。除雪についてだが、北山の募集が少なくなると聞いている。サービスの低下になることは間違いない。裏磐梯も直営が一人しかいない。直営の方がいい。村の雇用の仕方にも問題あり。

【副村長】具体性がないという意見を頂いた。村は今が分岐点。事業単位での意見を頂戴したものではなく、方向性についてご意見を頂戴したい。もう一つは人口減少という中で、具体的な数値を知る機会もなかったと思う。そのような現状をお示ししたかった。

【住　民】後継者がどれだけいるかの数値はおさえているか。

【住民課】数値については注視しているが、後継者がどれだけいるかという部分については確認する必要があるかと思う。どの世帯も若者が少ない。後継者という視点で 30 代男性の人数を見ると大久保地区は6人だが、他の地区はもっと少ない。大久保より多いのは北山・大塩地区の2つだけ。危機感を持つ必要がある。

【村　長】そういった視点で洗い出しをして、再編すべきものは再編していきたい。予算に組み込んでいく。皆さんから方向性について理解をいただけるのであれば自信をもって進めていきたいと考えている。

《住民生活》

【住　民】FM 喜多方が入らなくなった。生活圏の情報が欲しいのみ喜多方の情報がわからない。その辺も加味してほしい。

【住　民】大久保は携帯もはいらない地区だった。前村長に要望してアンテナを建ててもらった。農作業をしながらラジオを聞くのが日課になっていた。我々にとっては必要な情報手段。そのような声もあることから、ぜひご検討いただきたい。

【村　長】FM 喜多方に行ってみる。

《農業振興》

【副村長】農業関係などで課題があればおきかせいただきたい。

【住　民】実施隊の報酬が 25 日に振り込まれ、その明細が直前にくる。ギリギリすぎる。税金などの督促は早いのに、依頼の文書などは役場の都合でいつも間際。相手の都合を考えるべき。特に今の郵便物は郡山を経由するから時間がかかる。ちゃんと仕事しろ。

【総企課】全課に余裕をもって郵送するように通達した。

《地域振興》

【住　民】北山大塩線の道路復旧がなされていない。村と事業者どちらがやるべきものなのか。現状復旧なのであれば事業者なのではないか。

【村　長】次年度に予算をとって復旧したい。現場の状況を確認していないことが問題。

【住　民】11 月に要望活動があるが、3年前に二の沢の災害あった時に、水害対策で堰堤をつくるとの話が合った。堰堤は国の事業。その後の進捗はどうなっているのか。県に確認してほしい。もし施工することが決まっているのであれば、取水口もあわせてやってほしい。

【副村長】確認して連絡する。

【住　民】財政調整基金はどの程度あるのか。

【総企課】約 560 百万円

【住　民】子育て対策の充実とあるが現状を教えてほしい。それがわかれば、提案もしやすい。現状がわかるような資料作りを願いたい。意見としては保育環境の整備とあるが、預かりや児童クラブの預かり時間が他の地域と比較して早い。それが理由で流出にもなっているのではないか。

《農業公社》

【住　民】農業公社ができないことから、苦肉の策で“あいばせ”ができた。“あいばせ”になった途端、村との連携が見えない。取締役をやっている側として、耕作放棄地が増えることに課題を感じている。村長として“あいばせ”との関わりをどう考えているのか。農業関係についてどのような支援を考えているのか。“あいばせ”があるだけでは放棄地は解消されない。

【村　長】議会の理解が得られず、有志による出資により“あいばせ”となった。後継者の育成や休耕地の利用など、公社が行うとしていたものを“あいばせ”が担っている状況。村は連携をし

ていく考え。今年、協力隊を1名採用させていただいた。“あいばせ”で農業を学んでいただき、3年後残っていただければと考えている。“あいばせ”への補助も考えているところ。

【農林課】公社設立時点から関わらせていただいた。現在、村と“あいばせ”の関係性が離れている印象を受けている。当初の理念、目的に向けてやりたいことができていない状況。国の事業で地区の10年後20年後の将来を見据えた地域計画を策定する必要があることから“あいばせ”との関りを増やしていきたい。

【住 民】これから、農地の困りごとがどんどん増える。有害鳥獣も増える。対策が必要。

【住 民】“あいばせ”は株式会社ではあるが、公的な要素を持っている部分もある。商工会や観光協会に補助金を支出している。“あいばせ”にも出資すべきではないか。農業と観光の村であることも踏まえて事務員の補助を願いたい。独り立ちできるまでの間でもいいので。

【住 民】補助はずっとするべき。“あいばせ”が株式会社になったには村の責任。本来は公社であった。従事している職員もその話があったから前の仕事を辞めた。

【住 民】農地の景観は 10 年経てば変わる。大変悲しいこと。

【住 民】除雪の件で、“あいばせ”に相談をすべきではないか。公社の時から冬期間の雇用する意味でそのような話だった。

《地域おこし協力隊》

【住 民】地域おこし協力隊をもっと増やす考えはないか

【村 長】現在4名いる。現在 1 名募集中。もっと活用できるように考えていく。

【住 民】基本的には賛成するので、村としてどんどん進めてほしい

○ 早稲沢地区（10 月 11 日（水）19：19～20：31）

《人口減少対策》

【住　民】高齢化率とは何歳以上か？

【住民課】65 歳以上の方の割合となっている。

【住　民】村全体的には人口減少しているが、桧原地区はもっと減少している。子供をもつ高校生の親の声を聞くと、バスの接続が悪い。行きは裏磐梯まで送る必要があり、帰りは 19 時まで待っていなければいけない。これについてはどう考えるか。

【村　長】以前は東都バスが運行し、桧原・裏磐梯を接続していたが、現在は村が直営でコミュニティバスを走らせている。その後、喜多方線も撤退することとなり、維持する必要があることから会津バスと協議し、予算内でできる本数ということで運行が継続されてきたところ。ダイヤ編成にあたっては、利用実態に合わせながら運行してきた経過がある。しかし、今の状況がいいとは考えていない。村民から様々な事情を伺っているところ。村民のみなさんがどうあれば利用していただけるのかという点を踏まえて、検討していきたい。先月、一部区間の全便に職員が乗車し、乗降調査を実施した。ニーズに沿った時刻の見直しをしていきたい。

【住　民】下宿するには親の負担が大きいことから、村が補助をしていた。人口減少を止めるのは大変。通学が不便なのも理由の一つ。高校生の実態に沿った運行を願いたい。

【村　長】桧原地区には喜多方方面へのバスが無かったことから実証実験をおこない、今年度から定例運行した。お話し頂いたことを含めて村民の想いを組んだ再編を進めていきたい。

【住　民】孫が喜多方の高校に通っている。夕方に終わってもバスが無く待っているのが大変。喜多方の知り合いの家で預かってもらっている。19 時のバスしかなく、場合によっては迎えに行っている。ぜひとも子供の下校に合わせた時間帯の運行を願う。

【村　長】現在は観光客の足を考慮した運行にもしている。生活路線を含めた再編を進めたい。

【住　民】孫が幼稚園に通園している。裏磐梯に学校があるのにもかかわらず、裏磐梯から北山に流れる子供がいる。それについてどう思っているか。

【村　長】北山でも同様の現象が起きている。中学校から喜多方市など他の地域に通う生徒が多い。理由を聞くと部活が少ないことが大きな理由。親心としていたしかたないのとは思う。裏磐梯の方はおそらく子供が少ないからが理由かと思う。裏磐梯に子どもがどうすれば増えるかを考えていきたい。蛇平に若者住宅を整備している。要件として子育て世帯としたいと考えている。具体的な解決策はなかなか難しいが、ニーズを踏まえて策を検討していきたい。

【住　民】問題は仕事がないこと。通勤するにも遠い。そういう問題はどう考えるか。

【村　長】村の中に仕事がないかと考えるとそうでもない。又は起業することも一考。年間 200 万人がくる観光地。そのような方をターゲットにした起業を後押ししたい。村内で働き口がどこにあるかつかめていない。村の HP などで村版の募集広告を出すなどして、村にも仕事をあることを周知していきたい。

【住　民】今はパソコン一台で仕事ができる時代。テレワークの推進も一つと考える。

《地域振興》

【住　民】北山地区に村の駅を、裏磐梯地区では五色沼東エリアを整備とあるが、桧原地区について

村がどう考えているか聞きたい。

【村　長】村の大きな財産は裏磐梯だと考えており、そのエリアは剣ヶ峯地区が主流だが、その方々をどうやって村内全体に誘導するかを考えている。裏磐梯地区の観光拠点が変わらなければリピートに繋がらない。国が行うビジターセンターの改修に合わせて、五色沼東エリアを情報発信基地にして、桧原地区にどう流れをつくるかが私の考え。2件の塩ラーメンを提供する店舗で数万人の方が桧原地区に来ていることを踏まえれば、観光が成り立つ地域である。喫茶店や起業などでもうすこし賑わいを期待したい。桧原湖の景色も問題。現在、東電にかけあっている。来年度、一部であるが伐採が可能となる。これを第一弾として継続して行ってほしいと願っているところ。村も協力しながら進めていきたい。

【住　民】展望台の伐採は大変助かる。学校跡地を明大が使っていた。あの辺を有効活用していただきたい。桧原の郵便局の撤退の話もある。農協も無くなる。村の財政も大変だと思うが、旧校舎の利活用はどう考えているか。

【村　長】前村長もご苦労されたと伺っている。私も何社か見て頂いている状況。だが活用する企業が現れないのが実情。現在、カビが繁殖しており、外壁も剥がれ落ちている状態。その現状から活用する企業が現れるかは難しい部分もあるが、これからも継続して働きかけをしていきたい。

《有害鳥獣対策》

【住　民】有害鳥獣問題で農産物が危ぶまれている。いろいろな対策をするが、年数が経てば効果が薄くなる。サルの檻をつくって動物園などはどうか。

【村　長】鳥獣専門員を採用して、農業従事者と連携しているが、課題は多い。いたちごっこが続いており、現状はそれが限界か。サルに発信機をつけて生存区域の調査などを実施している。その結果を踏まえた追い出し対策など、県と連携して進めていきたい。

【住　民】猪苗代などでは追い上げを続けているようだ。

【農林課】猪苗代の事例であるがサルは追い上げるのが効果ある。あとは緩衝地帯を整備し見通しをよくすることで獣が隠れにくい状況にすることにより出没を減らす方法。

【住　民】花火以外にも専門的な対策をしているとこのとだが、対策の方法とそれにかかる費用などについてお知らせいただければ助かる。

【農林課】経費については、地域の方々と話し合いの中で説明をしていきたい。高原野菜は村のセールスポイント。重要な資源であるという認識から、守っていきたい。

《村の駅構想》

【住　民】村の駅の整備だが、どの程度の規模を想定しているのか。

【村　長】買い物、食事、直売、遊び場、交流の場といった機能を複合した施設を考えている。候補地の想定はあるが地主との調整はこれから。コインランドリーなど様々な意見もあるところ。

【住　民】車で数分走れば喜多方に行ける。必要性がわからない。高齢化対策か。桧原地区は限界集落。老人が多い中でどうすれば楽に生活ができるかを考えてほしい。若い人は増えないのは、魅力がないこともあるし、自分にとってプラスになるかどうか。裏磐梯の知名度は言うほど高くない。低い。その中で、裏磐梯というブランドの中で子育てをしたいという方はいるかもしれないが、桧原地区には強力な資源がない。ラビスパの大規模改修をやめる分、企業誘致をしてもらった方が若者の定住に結びつくと考える。

【村　長】裏磐梯の知名度は高いが北塩原村の認知度は低い。しかし、村長という立場で様々な方と話す中で、村に対する魅力の話を多く聞く。村の人がその良さに気づいて発信していくことが大切なのだと思う。北山に以前、村が取得した用地がある。官民連携により造成をし、建売することとした。アンケートを実施した結果、13 世帯から購入の希望を頂いたところ。そのような方々が来やすい環境、高齢者がその地域に留まれる地域には買い物が不可欠。住環境が整えば若者が来やすい土地になると考えている。村に遊び場がなく、村外の地域に行かせる親も多いようだ。村への新たな動きを考えていきたい。企業誘致については、東京事務所に伺い、村の資源である水と農産物にフォーカスをあてた誘致を希望してきたところ。現時点ですぐ決まるものではないが、誘致に向けた働きかけは継続していく考え。

《ラビスパ裏磐梯》

【副村長】ラビスパ裏磐梯の保留について意見はどうか。

【村　長】ラビスパ裏磐梯については、議会に一旦保留することで説明をし、了解をいただいた。その分の予算を、新たな方針に費やしたい。今後、ラビスパをどうするかは多角的な視点から考えていく必要がある。

【住　民】今、保留としたら、躯体は年数が経てばますますお金がかかる。思い切って縮小するなり、廃止するなりを考える必要がある。先送りは意味がない。現状を見てもお客さんも少なく、経営が大変なようだ。

【村　長】経費もかかることから先送りを長くすることはできない。止めるにも続けるにもどの程度の経費がかかるかの洗い出しを進める必要がある。遠くない時期に判断が必要。

【住　民】もともとは若者定住を目的に整備したが、今はそうなっていない。村の駅を整備するのであれば判断が必要。

【村　長】プールゾーンの屋根の老朽が激しく、5億円かかることが判明した。それ以外にも支障をきたしていることから全体の改修を考えると 10 億円がかかることとなった。このまま進めていいのかの分岐点であると思う。それらを踏まえ一旦保留として他の施策を進める。遠くない先に結論を出していきたい。現状をまとめて、議会に諮っていきたい。皆さんにも説明する機会を設けたい。

【住　民】維持経費に大きなお金がかかる。道の駅の収益も食っている。ぜひ早い判断を。

《空き家対策》

【住　民】空き家対策をしているようだが、どのようなことを進めているか。

【村　長】村内に空き家は 180 件以上ある。いま、家主から村が借りてリフォームを行い、移住者に貸すという取組みを県内初で始めた。次年度以降も増やしていく考え。空き家だが貸したくない人もいる。売りたい人は空き家バンクへの登録も進めている。

【住　民】早稲沢はどうか。

【副村長】早稲沢地区でそのような希望者がいるのであれば情報提供願いたい。

【住　民】壊れかけている空き家もあるがどうか。

【総企課】改修と解体補助金がある。50 万円を上限に1/3補助。

【住　民】連絡がつかないような建物はどうするのか。連絡ができてもどうにもできない空き家は。道路沿いにも壊れかけの家が点在している。

【村　長】所有者に願うのが村の限界。行政代執行しても所有者に請求することとなる。

【住　民】倒産が原因の空き家もある。

【住　民】空き家対策で移住者向けの補助制度はあるか。

【総企課】移住住宅取得補助金もある。県内移住 70 万円。県外はその倍となる。

【住　民】光るものがないと移住者はこない。スタートアップ事業などの支援などはどうか。雇用も生まれると思う。

【村　長】高齢者が増えていることを踏まえれば除雪ひとつとっても見直しが必要だと考えている。どこまで行政がすべきかの整理はできていないが考える必要がある。雪の無い地域から移住された方が留まれるように。

【住　民】桧原・裏磐梯地区の人は、除雪は自分でやる認識。大雪で倒木があり停電があった。桧原湖周遊は倒木が多い。最近、雑木がきれいになった。村民にとっても住みやすくなった。

【村　長】県の土木部に依頼し対応いただいた。昨年は狐鷹森～早稲沢地区をやり、今年は早稲沢～桧原地区を行ったところ。要望が功を奏した。大型バスが枝にぶつかって通りたがらなかった。今後も続けていきたい。

【総企課】5月から移住コーディネーターを採用した。村内の空き家調査や活用した移住のマッチングなど活動をしている。ぜひご連絡願いたい。

《道路整備》

【住　民】桧原～金山のトンネル工事だがいつごろから着工になるか。

【村　長】毎年要望している。測量は終わっているようだ。今、桧原地区前までの工事をしており、それが終わらないと着工に至らないと思われる。県議会議員や国会議員に、継続して強く要望していきたい。単なるトンネルではなく、磐梯山噴火時のシェルターの役割という視点からも説明している。

【住　民】相互通行ができなく観光客からも不便をきたしている。ぜひお願いしたい。

《観光振興》

【住　民】インバウンド需要に伴い、裏磐梯もその流れに乗れないか。携帯一つで旅行する時代。裏磐梯でもはじめられるような事業の調査はしているか。雇用も生まれるし足の確保もできる。喜多方でもデマンド交通が展開されている。裏磐梯の地価が挙がれば地域が潤う。

【村　長】東海道新幹線はインバウンドだらけ。東北には流れていないようだが、今後来るであろうと考えている。県と共に連携して進めていきたい。

【住　民】これからの村ブランドをどう作っていく考えか。

【村　長】村のブランドは観光地をどう売るか、人をどう呼ぶか、そしてどう流れるようにするか。そうでなければ地域は潤わない。村の売りの一つに“日本の湖水地方”という言葉もある。このフレーズは地域ブランドになりうる。世界に売れるネーミングのようだ。インバウンドにはうってつけ。観る視点と食の視点のほかに、ウェルカムの村づくりに向けた人づくりにも貢献していきたい。村民がそれを担えるように。

○ 大塩地区(10月12日(木)19:15～20:48)

《村政全般》

【住　民】こういう場を設けていただきありがたい。人口減少対策として3つの項目に説明をいただいたが、実際には絵にかいたモチにならないか。しっかり考えているのか。本当にどこまでできるのか確認したい。

【村　長】これについては今後の方針として示させていただいた。このような対策が必要であると考えている。ひとつずつしっかりと進めていきたい。

【住　民】村長はラビスパを直すと3年ずっと言ってきた。今頃方針転換はおかしい。人口減少はとっくにわかっていたこと。3月議会に諮って、議員も存続に賛成し承認していた。村長の方針転換に対して、全員協議会でおかしいといった人はいなかったのか。

【村長】ラビスパについては就任した段階で、プールゾーンの改修が予定されていた。プール屋根の調査をした結果、もたないことが判明した。屋根部分だけの改修に5億円かかることが分かった。議会との協議や村民アンケートを踏まえ、大規模修繕を認めていただき実施設計を現在行っているところ。しかし、人口減少という大きな課題に照らし合わせた時に、その人口減少に対する施策とラビスパの大規模改修を両方行うとすると財政上もたないことが判明した。村民の方々の生活環境を良くし、皆さんが村に留まっていただける施策に転換したいと考えている。

【住　民】ラビスパの保留とは、近い将来、また復活するとのことか。

【村　長】経常経費もかかることからいつまでもそのままにするわけにはいかない。年内に一定程度の判断をする必要があると考えている。

【住　民】ラビスパの存続については、あの状況で再現することは難しいと考えており、反対である。今、村は赤字の会社にお金をつぎ込んでいる状態。それに対して社長である副村長はどう考えているのか。道の駅の生産性をあげることに転換するとか必要ではないか。

【副村長】社長は村長。

【村　長】27 年前に雨天時の観光需要や雇用促進などの目的から必要性を踏まえ整備し運営をしてきた経過がある。まずは一旦保留とさせていただき、精査していきたい。議員との協議を踏まえて判断していきたい。

【住　民】3月の議会で村が提案し、議員が賛成してやるとのことで進んできたが、他の自治体ではこのような類の施設はお荷物であることから捨ててきた。あの施設になぜお金をかける必要があるのか。村民アンケートも結果ありきで調査している。反対の場合はどこに丸をつけるのかと聞いたらその他に書けと言われた。対応が悪すぎる。アンケートの結果、半分ちょっと賛成した程度で続けるとしたのは意味がわからない。保留としたのもなぜか。躯体はもっと悪くなり、壊れかけているものを使うなんてありえない。やめるならやめると今すぐ判断するべき。少子化だとか人口減少とかに費やすべきでお金を使う優先順位が違うのではないか。

【村長】そのような視点を踏まえて協議していきたい。貴重なご意見として賜りたい。

《企業誘致・定住》

【住　民】定住には企業誘致が必要ではないか。村には条例があることからそれを活用する考えはないか。今後どのような流れになるのか。

【村　長】村内で働く場があるのは必要。先日東京事務所に伺い、水を扱う企業誘致に希望している旨を訴えてきた。村の場合だと、喜多方や若松に通える距離だが、喜多方の企業誘致の実情を見ても大変難しい状況。村全体を考えれば魅力的なエリア。コロナ禍でも180万人が来村している。例えば起業を進められれば賑わいの創出につながると考えており、そのような方々への働きかけにも力を入れていきたい。

【住　民】起業は観光主体になりがち。北山地区への誘致もぜひお願いしたい。

【村　長】そのような視点の大切さを認識している。進めていきたい。

【住　民】村長の弁は素晴らしい。もっと PR 活動をしていただきたい。一般会計の中で村の広告宣伝費はどの程度か。

【副村長】令和５年度ではホームページの改修に 500 万円。新聞などの公告について 30～50 万円。観光誘客宣伝費については裏磐梯観光協会に補助している。

【住　民】村にもっと予算つけて PR するべき。昔は東京駅に大きな看板を設置したりしていた。杉並ばかりに誘致活動している場合ではない。観光課長は何をしているのか。

【商観課】杉並区では 5、9 月に物産展を開催。11 月に来場者 10 万人のすぎなみフェスタでの PR を行う。協定の在り方についても検討を行っている。先週、村の加盟施設の方と杉並区役所職員とともに今後について協議した。

【住　民】杉並ばかりではなくもっと広く PR するべき。東京以外にも必要。周辺市町村では一生懸命行っている。人口減少問題を村民に押し付けているのではないか。今まで皆さんは何をやってきたいのか。今になって大変であると言われても困る。これをどういうふうにするのか。村の駅をつくるのにどの程度かかるのか？

【村　長】北山地区には数年前に村が購入した住宅用地があり、官民連携により造成と建売を進めている。選ばれる村になるには、買い物や飲食、遊び場など住環境が必要であると考えており、そのような複合施設を整備したい考え。

【住　民】場所はどこか。

【村　長】北山地区を予定している。具体的には現時点では決まっていない。

【住　民】村には管理している既存施設がたくさんある。活用するべきではないか。民間への売却なども含めて。グリーンセンターも何年も放置する理由もわからない。アスベスト問題は理由にならない。以前、旧大塩小学校の学校跡地利用で計画を募集したことから応募した。その時に3つの計画がでた。2つは数ページの計画で、私は 20 ページ以上であった。にもかかわらず、そば伝承会が選ばれた。当時の担当者だった今の副村長に赤字になったらどうするのと聞かれた。がっかりした。今、赤字のところにお金をつぎこんでいるではないか。もう少し勉強するべき。村の駅は大塩でもいいのでは？旧大塩幼稚園なども使える。村長はトップセールスをしているのか。

【村　長】やっている。

【住　民】公表してほしい。

【村　長】個別に報告します。皆さんから意見を頂戴する場なので、他の方からも意見を募りたい。

【住　民】村政懇談会も細かくやりすぎ。大きな会場で広くやるべき。案内も行政区ごとに配っている。全体の日程を知らせるべきではないか。みんなにも都合がある。

【村　長】今回は細かく設定したが、今後定例化するにあたっては4箇所にするのも検討している。

《人口減少対策》

【住　民】人口減少について 2004 年からの推移を調べた。当時は 3500 人いた。その後大きく減っている傾向があるが、その推移は村では把握していたと思う。これまで人口減少に対する施策は様々な場面で取組んできたと思う。それでも歯止めがきかないから懇談会となったわけだが、これまでの施策について顧みるといった作業はしてきたのか。これから新たに進めるにも、その反省がなければ進めない。成功した例、失敗した例からいろいろ学べるのではないか。過去に行った施策でうまくいったもの、だめだったものなどの実績を顧みてから今後の施策に反映させるべきではないか。それぞれを具体的にピックアップすることはここではできないが、そういう考えで行わなければ人口減少は止まらない。いずれ限界自治体に陥る。村もそこの仲間入りになるのではと心配している。村が今回、人口減少問題に視点を向けたことに対する姿勢には評価したい。進め方をしっかり検討いただき、みんなが同じ方向をむくようにおこなってほしい。期待している。注視していきたい。

【村　長】国全体でも人口は 8,000 万人まで減少すると言われている。村では松陽台団地やスカイヒルを整備した際は減少が緩やかになった。今は急激に降下している。そのカーブをまた緩やかにするための施策として、今回方針を示させていただいた。今回挙げた項目は他の自治体と比較したときに、遅れているものもあれば村が優位のものもある。今回は大きな転機であることから、具現化できるようにしっかりと見直していきたい。

【副村長】検証については、総合戦略にもとづいて実施している。実施する事業と数値目標を設定しており、毎年評価しているところ。中期計画での判断も進めている。

【住　民】施策に対する PDCA をしっかりしないとチェックができない。しっかりやってほしい。

《地域振興》

【住　民】一つの素人ならではの提案として 180 万人の観光客向けに人手が必要な除雪体験や草刈体験などをしていただくのはどうか。参加してくれれば施設で使える割引券を渡すなど。高齢者も助かるし売り上げもあがるし、観光客もお得を感じれる。雪景色などを見た時にきれいだで終わる。住んでいる側は大変。新鮮な体験のメニューとして面白いと感じる。知名度も上がるのではないか。今がアピールするチャンス。

【村　長】大変おもしろいアイデア。以前、地吹雪ツアーも人気で注目された。芸能人に声をかけると人がついてきて、その人たちと農作業する番組などもよくある。手立てを講じていきたい。

【商観課】除雪について西会津町ではジョセササイズといった活動をしている。そのようなことの連携やエコツーリズム協会の事業を組み合わせるなど進めているところ。また、観光では SNS の発信をしている。山塩関連は全国規模の放送局で取り入れられている。アルプス処理水に関する補助金などで対外的な PR ができることから有効に活用していきたい。

【副村長】地区の課題はどうか。

【住　民】何年も前から声をあげているが、旧鈴川の建物について伺いたい。今年祭礼をした際にその広場を盆踊り会場とした。危険な建物であるとは認識している。所有者や不動産の問題から行政での手立てはできないようだが、現在どのような状態になっているのか。行政として何か対処できないか。

【副村長】実質倒産している会社で清算がされておらず、登記上残っていることに対する取り扱いを一般論として説明願う。

【税務課】税務課では法人が倒産又は実質倒産した滞納が発生した場合には、法人の所有する不動産（土地・建物）について登記簿等を調査する。そのような法人はたいがい抵当

権が設定されており、未納の税額より借入額が大きい。よって、公売をしても売却価格が借入額をうわまわる事が無い。また、法人の代表者が亡くなられている場合、管財人を村が立てなければならなく多額の費用が必要となり現実的ではない。結果として、村でもそのような不動産はどうすることもできない。最終的に手が付けられない状態となる。社長がいなければそれ以上進められない。抵当も相当額ある。

【副村長】旧鈴川は債権の回収会社が実質管理している。そこは全国の同様の物件を扱っており、旧鈴川には具体的な動きはない。地区の方から木造部分について要望を聞いているが、村が行うとすると債権会社が得をするだけになってしまう。

【住　民】危険性について先方に説明しているのか。

【副村長】1度、先方に伺い写真などを渡して現状を伝えている。

【住　民】最初のページのグラフについてだが、実際にはこれ以上さがるのではないか。2040 年に相当数の自治体が無くなると言われているが、そこに村は入っていないのか。お金の使い道について間違っていないか。ラビスパの保留もその一つ。村の駅を作るのも疑問。少子化とリンクするのか。買い物難民はもっといる。小野川、長峯なども同様。昔は移動販売があった。そのような対策に対するアイデアはどうか。

【村　長】何もしなければ、この村はもっと廃れるのではないかと考えている。買い物ができなければ、どこにいけばいいのか。私が考えているのは、村の駅を基点とした村内の移動販売なども含めており、そのような住環境をつくっていきたいと考えている。

《学校施設》

【住　民】学校遊具の関係で、安全性に指摘がされた。今の遊具はほとんど規定にあっていないのではないか。定期的に検査しているのか。今後どのように考えているか。広場や集会所においてある遊具については、今後どのように考えているか。非課税世帯への 3 万円支給とあるが、対象が 400 世帯のようだどこから算出しているのか。これからどれだけ増えていく見込みなのか。

【教育課】学校遊具については毎年点検をしており、その報告に基づき修繕をおこなっている。場合によっては使用禁止とする場合もある。

【住　民】高鉄棒は基準外ではないか。

【教育長】昔の基準で作ったもので現在は基準にあっていない。検査により判断していきたい。

【住民課】広場や集会所の遊具はそれぞれ経緯が異なり、行政区で管理しているものもある。今年、社会福祉協議会で修理などの募集をしたが、結果、業者側から修繕できないものが多数見受けられ、通常使用できないものと判断された。村としては社会福祉協議会からの報告を踏まえ、行政区で判断いただくよう社会福祉協議会経由に伝え、各行政区では社会福祉協議会から受けたものと思う。今後は、広場等にある遊具は安全性を考えれば、行政区の状況を踏まえると同様なものを整備するのは困難。昨今は子供が喜ぶ遊具としてアトラクション的なものが多い。集会所などにつくるよりは、ある一定の場所に集中して作ることが望ましいと考えている。村の駅構想もその一環になりうる。

【住　民】各行政区で判断するための指導などはしているか。

【住民課】今回は社会福祉協議会から相談があった行政区には伝えている。住民課として行政区の遊具を管理、指導する場にないことから、行っていないが、行政区長に伝えていきたい。

【住　民】怪我した場合の責任の所在が問われる、村であると思っている人も多い。

【住民課】対象世帯数は令和4年度の実績として 350 世帯がいたことと、転入世帯があったことから 400 世帯として予算計上した。現時点で 300 世帯にプッシュ型で支出。全世帯の3割以上が対象であることは危機感として捉えている。苦しい方が多い。

《防災・減災》

【住　民】災害が急激に増えている。大塩地区の避難場所として北山にしているが、なぜか？北山に行くにも危険な場所がある。

【住民課】結論から申し上げると、大塩地区の避難所は土砂災害警戒区域、地滑区域にはいっている。人命が奪われることは村として回避したいことから、北山地区と判断した。道中の大塩川の危険性はその時点で通れることを確認したうえで案内している。令和3年3月にハザードマップを作製したものをぜひご覧いただきたい。

【住　民】大雨の時、川前地区の方を考えると不安が大きい。北山に行くにも里道を通る必要がある。移動が怖い。

【住民課】根拠としている情報を踏まえて村で避難の判断している。経路についてはこれからも村で確認したうえで行っていきたい。昔はハザードマップなどがなかったことから大きい施設に避難することが一般的であった。情報については早めに出していきたいし、防災学習なども進めていきたい。

【村　長】昨年8月の雨は観測史上最大の雨であった。大塩地区の方のことを考えれば活性化センターに避難したい気持ちはわかるが、地滑り区域に避難させるわけにはいかない。道路や河川の危険性を把握したうえで行っている。その点の説明も定期的に行っていきたい。

【住　民】避難経路はきちんと精査していただきたい。マップの見直しも。

【住民課】土砂災害警戒区域、地滑り区域に対する対策はできない。災害が起きる以前に対応することが現実。河川については修繕も可能。

【住　民】昨年の水害で被害をうけた村道を直していただきありがたかった。住民から問い合わせを多くいただいていたが、いつ復旧するかの説明がなかった。区長にはその旨を事前にいただきたい。通行止めも、奥まで行ってからわかる状態。看板はあったが見にくかった。

《その他》

【住　民】路線バスは冬も大久保をとおるのか。夕方の増便はないのか。

【総企課】冬も大久保を通る予定。バスの運転手もプロであることから安全に進める。4月の再編に向けてバス会社と協議していきたい。

【住　民】全ての懇談会の結果について公表の予定はあるか。

【副村長】広報での公表を検討したい。

○　北山地区（10月13日（金）19：13～20：47）

《村の駅構想》

【住　民】住環境向上の中に村の駅整備とあるが、北山からわずか5分車を走らせれば買い物ができるし食事ができる。大きな問題はないと思うが村の駅を作る意味は。

【村　長】車で行ける人はいい。高齢化が高くなり、買い物難民という人が増えてきている。北山だけでなく、村全体を考えた時に、誰一人置き去りにしてはいけない。身近で利用できる施設を整備すれば住環境がよくなる。また、子供を自由に遊ばせる空間がない。村の駅といった複合施設を整備して、住み続けられる環境をつくることが目的。

【住　民】村の駅には大塩地区であれば車で行かなければいけない。結局は同じではないか。

【村　長】路線バスが大塩から集落内を運行するようになった。そういったバスを利用すれば利便性は高まる。近隣の他地域からの利用がしやすい環境であることから、村における経済効果は上がるし、雇用も確保できると考えている。

【住　民】雇用の場という視点からすれば、若い人がとどまって子供が預けられればいいと思うが、もう一度お金をかける費用対効果について考えていただきたい。

《人口減少》

【住　民】テーマが人口減少問題。流出防止と流入させるといった2つの視点が必要。流入の視点が不足しているのではないか。村の駅はいいと思うが、一番気になるのはラビスパ。他の地域との連携ができないなど地域的な問題を抱える単独施設のラビスパをずっと抱えていくのがいいのか、それとも思い切ってあの場所から撤退することがいいのか。判断する時期にきているのではないか。長期的な視点からみて、今判断すべき。壊れたから壊すという考えは安直。農林水産業みらい基金などを活用する予定はあるか。働く人の場をいかにつくるかが課題。この村が魅力あるエリアとして流入する人を増やすよう取組んでほしい。

【村　長】人口流入については、村有地を官民連携により宅地造成と建売をすることとし、住宅その手法により住宅を整備する。子育て世帯に対しアンケート調査をした結果 13 世帯の希望者がいたことが分かった。人口流出防止に加えて、安い土地＋支援策をほどこして他自治体からの流入を図りたい。この村はポテンシャルが高い。他の自治体の首長からも高い評価をいただいている。この魅力の場で起業できるような点に焦点をあてて支援制度を考えていきたい。ラビスパについては就任した当時、プールゾーンの屋根を改修する計画があり、鉄骨の診断をしたところ、老朽が激しくもたないことが分かった。その部分の改修で5億円かかるとの試算がでた。他の躯体についても経年劣化があることから全体を考えたところ、10 億円を要することとなった。3月議会で実施設計の費用を議決いただき、修繕することとしてきたが、人口減少が課題として挙がる中、そのまま進めていいかというのが今回の議題。ラビスパを一旦保留として、住環境の整備に力をいれていきたいと考えているところ。しかし、保留も先延ばしすることはできない。様々な課題が山積していることから年内に判断をしていきたいと考えている。国県補助については、財政状況が悪いことから、それぞれの課で補助ありきの計画をたてるよう指示しているところ。

【住　民】優先的に実施することとして施策を挙げているが具体的な事業を教えていただきたい。

【村　長】五色沼東エリアは国の満喫プロジェクトの中で、国立公園の再編をするというもの。ビジターセンターの隣に観光プラザがあるが、両施設が寸断されている状況。そこを新たな観光

拠点として整備したく、国の了解をいただきながら上質化していくもの。変わらない良さもあるが変わることも必要。裏磐梯のインフォメーション拠点をつくりたい。子育て環境の整備とは、保育施設は必要との視点。これまで、こども園を検討してきたが、お金がかかることと子供が少ないことから民間とのタイアップを検討しているところである。住宅団地の整備は、私の公約で 20～30 区画を整備することを掲げていたが、まずは今所有している村有地を先に進めていくというもの。

【総企課】情報発信のプラットフォームとは、ラインなどを活用して情報発信の実装を進めるもの。区長便のデジタル配信や災害時の速やかな配信などを検討している。日々デジタルは高度化している。生活環境にも利便性を高められる手段として活用したい。

《結婚・後継者対策》

【住　民】北山には結婚しない人がたくさんいる。昔、仲人していたが、最近の人は会いたがらない傾向にある。断った時に、紹介した人に申し訳なくなるらしい。先日、熊倉公民館で講演があり、その中で県が行っている結婚相談所のようなマッチングシステムが紹介された。スマホで入会できるようだ。これまでの成約は会員で 138 名。非会員で 377 名いるとのこと。苦手な人には世話焼き人が間に入って、それでまとまったのは 174 組。50 代もいるとのこと。入会金は1万円。これを自治体が補填をしているところもある。結婚してからの助成はあるが、結婚前のものがない。県内で 22 自治体が補助している。磐梯町では他にも他のシステムに入会した時の補助として年間 5 万円分している。結婚する前の方への助成があったほうがいいのでは。

【村　長】他の自治体の状況を踏まえて検討していきたい。貴重な意見ありがたい。

《地域振興・村民生活》

【住　民】実質公債費率はどの程度で下がる見込みか。村営住宅に入っている方は収入が高くなれば退去しなければならない。退去しなくていいように村で助成できないか。村外の役場職員が村内の住宅に入居できるようにしてはどうか。

【総企課】実質公債費率は次年度がピーク。ただ、ラビスパ裏磐梯の大規模改修を進めると 16%まで上がる見込み。18%を超えると借入するのに国の判断が必要となる。

【村　長】低所得者層住宅として整備した経過があり、国の制度として成り立っている。なんとか撤廃ができないか国交省に掛け合ったが、制度を見直すことはできないとのこと。特別に入居できる方法がないかと現在調べているとのこと。村の家賃補助は公平性の観点から疑問が出てくることから現時点では考えていない。そのような方々が留まれるように官民連携の住宅用地の造成を進めているところ。まずは村が有している土地を活用してから、それでもニーズがあるようであれば新たに造成したい考え。

【住　民】安心して出産できる体制づくりとは。村の駅の整備とあるが、北山に作る考えはあるか。

【村　長】村の駅は北山地区に整備したい考え。

【住民課】今、喜多方市に出産できる環境が無い。検査や出産後に不安になられる方がいらっしゃるので保健師が面談を行うなどで手厚い支援を行っている。その他、日帰りや宿泊での産後ケアなどもある。今後は、子供ができない家庭に対する不妊治療対策などを考えたい。

【住　民】独身者が多い時代。村単位で出会いの場の取組みとして年1回行うのもいいのではないか。

【村　長】いわゆる合コンのようなものかと思う。村でも昔やったことがあったが成約がなかったよ

うだ。婚活については喜多方市との施策連携を行う定住自立圏共生ビジョンの中にも入っており、喜多方市、西会津町を含めた圏域の方々のマッチングをすすめているところ。村内限定だと恥ずかしさもあるようだ。他の地域の方と出会える場を設定できるよう考えていきたい。

【住　民】国勢調査で県の人口が 180 万人とのこと。5増5減の中で福島県は衆議院議員の定数も減った。いかに会津の人口が減っているかを物語っている。子供も全国で 80 万人を割った。少子高齢化はもう避けられない。村長は選挙の時に人を活かすといっていた。地域おこし協力隊員をもっと増やすことを様々なチャンネルを使って進めていただきたい。団塊の世代の人が高齢者になっている。8 年前も減っていたが、更に減った。特効薬はない。ぜひ尽力いただきたい。

【村　長】地域おこし協力隊員は現在 3 名いる。今回 2 名採用することとなった。村を好きで来ている方もいる。観光客も 187 万人だった。村を好きなひとが多い。このような方々との連携を深めていきたい。

【住　民】松陽台の子供が通学することを見かけるが、子供の数が減っていることを目の当たりにしている。所得制限で村営住宅を出ていく方がなぜ村に留まらないのかが疑問であった。それが人口減少を加速させているのではないか。

【村　長】村内に土地を求めた方もいらっしゃった。ただ村には無かったことから喜多方に行かれた方もいる。それを含めて、官民連携の宅地造成を進めている。

【住　民】地域おこし協力隊の状況、また、起業する場合の相談について聞きたい。

【総企課】今年から 2 名を採用し、商工会とあいばせに 11 月から配属することとした。商工会に入る方は起業支援を考えている。

【住　民】上下水道料金だが、使用料金収入がとても低い。それを上げないと村の財政は苦しいだけで意味がない。料金改定で料金を上げても人口が減れば使用料があがらない。裏磐梯にはホテルが7つ、収容人数は 2400 人分のキャパあるようだ。半分入れば 1200 人。泊まる人が増えれば使用料金が増えると思う。観光客を多く呼び込まないと一般会計からの繰入がなくならない。村の負担を少なくするには観光客を増やす必要がある。自宅に電話をかけてくる保険などのセールスマンに対し裏磐梯の認知度を調べたところ、41%程度であった。喜多方ラーメンは 100%。裏磐梯の認知度が低いと思った。

【村　長】上下水道料金については、検討委員会の結果、料金をあげることとなった。上下水道の事業を継続するために一般会計で支えている。正直、今の 10 倍の料金がなければ黒字にならない。観光施策も大事な課題。都市部を中心に PR していきたい。

【住　民】家の空洞化（空き家）が何件も見受けられる。以前、女性の職員の方が調べていたようだが空き家対策の結果を聞きたい。農地の空洞化（耕作放棄地）も大きな課題。都会には興味を持つ方がいらっしゃることから、無償で貸してそれらの空洞化を活用していただきたい。来ていただいた人には補助金を出すことや子供への手厚い支援をするなどはどうか。

【総企課】調査を行っていたのは移住コーディネーター。村全体の数字として空き家は 172 件。活用見込あるのは 41 件。そのうち適切管理ですぐに活用 10 件となっている。今現在、村がおこなっている空き家施策は、改修で 150 万円（1/2）。空き家の解体で 50 万円（1/3）。移住住宅取得補助金として、70 万円＋加算額（県内）。140 万円＋加算額（県外）。加算額は子育て世帯などへの追加補助となる。

【農林課】耕作放棄地を使うには、まずは非常に荒れていることから使えるようにする必要がある。

そのうえで農業委員会を通じて貸せる手続きとなる。

【住 民】空き家と農地と子育て支援をセットで売ってほしい。

【村 長】今年、村のホームページをリニューアルしている。その中で、そのような制度をわかりやすく知っていただけるように構築していきたい。

《人口減少対策》

【住 民】今回の議論は、今の村の人口減少がなぜ起きていて、それをどうすればいいのかではないか。順序建てる必要がある。亡くなった人が多いのも理由の一つだが、これが主要因ではない。もっと深く追求するべきだと思う。村民が実際にやっていること（長男が家を離れることを止めない）を変えなければいけない。東京だけ人口が増えている。みんな都会にいって帰ってこない。なぜ急速に減ったかの要因を分析して、それを解決するにはどうすればいいか。村の地域おこし協力隊は定住しないことが見受けられる。昭和村や西会津町では留まる人が多い。この方々がたくさんいれば PR になる。村営住宅や上下水道使用料などの問題もわかるが、なぜ定住しないのか。家を建てる場所がないからか。所得制限は国の決まりなのはわかる。でも、入らない状態が続いて、老朽すれば壊すしかない。村が税金で壊すことになる。無駄。もっと村の実情、現状を国に訴えるべき。データは村がたくさん持っているはず。しっかり分析してほしい。

【村 長】様々な要因がある。子供への教育もその一つ。私を含め、子供たちに好きにしていいといってきた。我々が村に対して誇りを持てば子供の回帰につながる。村がやること、村民がやることを考えていく必要がある。村営住宅の空きの現状を国に訴えている。全国的にも発生していること。現状は条件を緩和することが限界。用途廃止となれば村が家賃を設定することもできる。ただ、現実的にはまだ難しい。

【住 民】喜多方に家を建てて住んでいる役場職員もいる。なぜ喜多方にいったのか。身近なところから聞くなどして、それらを含めて考えてほしい。

《村の駅構想》

【住 民】村の駅だが、買い物とは食料品や日用品のことか。

【村 長】生活用品、生鮮食品、野菜の直売を考えている。

【住 民】第二のラビスパにならないようにしてほしい。北山の遠藤商店がなぜやめたか。大塩も鈴木家も苦労している点はないかなど、下調べをしたうえで進めてほしい。少子化は地方自治体でどうにかなる問題ではない。可処分所得が少ない。税金や社会保険料で48％納めなければならない時代。いわゆる五公五民。人口減少については、それなりの対策は必要だがそもそもは国の問題。若い人は暮らしていけない。

【村 長】急激な現象を緩やかにする行政としての努力はしなければいけない。そのための今後の方針として、示させていただいた。

《移住・定住》

【住 民】8 月に縁あって村営住宅に引っ越してきた。今回参加をしてとても切実さを覚えた。会津エリアで2年間移住活動をしていた。会津地方振興局のコーディネーターに北塩原村を紹介された。裏磐梯は知っていたが、北山が北塩原村とは知らなかった。たまたま村営住宅の募集があり申し込んだ。正直こんなにいいところがあったのかと気づかされた。飲食や

買い物するとこが無かった。店舗を借りるところもなかった。自分で動くしかなかった。道の駅にコーヒーとスパイスカレーの出店を考えたが、類似する店舗がありできないと言われ、できなかった。移住の補助金などを頭に入れてきたが、村に無かったのは起業支援制度。この村はいいところなのに制度が少なすぎる。国・県の補助制度について他の自治体は行っているのに村ではなかった。起業支援も商工会に入らないとできないと言われた。借りられるお店もない。結局、今は猪苗代の物件を借りている。猪苗代はそういう支援がそれなりにある。今まさに切実に考えている。せっかく村民になったので、仕事が村の中にないものか考えている。喫茶スペースが村役場の片隅にあればいいと思った。バイクなどの観光客がよく通ると感じたからだ。都会の方はいろんなものを求めてくる。でも調べ先がないと終わってしまう。野菜も買ってわかったがすごくおいしかった。もったいない。福祉の充実とあるが、障がい者に対する福祉が少ないと感じた。国保も倍の値段。村営住宅も前より高い。

【村　長】村としても大変ありがたい。村独自の起業支援策はない。これを踏まえて R6 に向かって考えていきたい。

【住民課】村の福祉制度は他の自治体と同程度のサービスをしている。医療費の支援や器具等についても実施している。資料には記載がないがきめ細かく提供している。

○ 曽原・狐鷹森地区（10月16日（月）19：17～20：45）

《ラビスパ裏磐梯》

【住　民】人口減少が進むと村の存続に関わるとあるが、どの程度減ると存続に関わるのか。限界はあるのか。

【村　長】ニュースで有名になったのが大川村。議会を総会制にしようという動きがあった。人口が500 名程度。村の人口は、合併当時は 5400 人だったが、現在は 2300 人。行政サービスを提供するにあたっても、交付税があるから対応できているが、人口が減れば交付税が減り同じサービスができなくなる。全国的にみれば人口減少はやむを得ない。ただ、住民サービスを低下させることはできない。今回、村が危機的という理由は令和4年度の出生が2名ということにある。転出も多く 126 名が減った。大型ホテルなどの影響など村の特殊事業もあるようだが、結局は税収や交付税の減につながる。この右肩下がりの曲線は、このままだと下がり続けるのは間違いない。減少を食い止めるのは難しいが、緩やかにするために、様々な施策を進めたい考え。

【住　民】財政事業が厳しいとあるが、倹約をしなければならないと思うが、構想としてラビスパの大規模改修や村の駅の整備、子育て支援などにお金をかけることを考えているようだ。節約できることをもっと考えるべき。ラビスパについては昔から議会で壊した方がいいのではという意見が出ていたが、お金を投資し続けてきた。実際、村の方々はどの程度利用しているのかなどの費用対効果を検証しているのか。ここにいる人に聞いてみてもいいが、少ないはず。その中で今後運営を継続する必要があるのか。今後も継続して補助金を投入するのであれば、次年度に大きなお金がかかったとしても取り壊すべき。長い視点で考えていただきたい。

【村　長】ラビスパ裏磐梯についての改修は保留したい考え。私が就任時はラビスパの改修を考えていた。鉄骨の診断をしたところ、老朽が激しく修繕ができないことが判明し、大規模改修とした。アンケート調査をして半数ちょっとの村民が必要性を求めたことから大規模改修としてきたが、おっしゃるようにこれから先を見据えた時に、果たして進めていいのかと考え、今回立ち止まったところ。一旦保留とさせていただき、今後かかるであろう経費などを含めてシミュレーションを行い、精査をしたうえで年度内に判断をしていきたい。その際は議会への説明や皆様にもご説明したい。

《住宅整備・住環境》

【住　民】住環境の向上・福祉の充実とは具体的にどのようなことが進むのか。

【村　長】官民連携による住宅用地整備とは、村有地を売買し、民間が住宅用地を整備するというもの。住宅取得支援は、他の自治体と比較したところ、村が劣っていることから見直しを進めている。村の駅の整備とは、北山地区に整備し、買い物、食事、遊べる、交流ができる複合施設を考えている。人口の流出防止と他地域からの流入を目指すもの。公共交通の再編については皆様から様々な要望を頂いている。喜多方線が会津バスとなった。早稲沢から道の駅にコミュニティバスを走らせている。これらの運行を約1年やった結果を検証したうえで再編を目指していきたい。除雪体制については、これまでの除雪で果たしていいのかということ。高齢化率が 40．7％。村に住み続けることができるのか、安心感を醸成するためにもこれまでの手法を見直していきたい。情報発信のプラットフォームについては

村 HP をリニューアルしている。村の発信力が弱いことから強化していきたい。スマホを活用して SNS による情報取得や健康管理に役立つような仕組みを考えている。離れていても安心を得られるような生活を提供したい。

【住 民】デジタル化は大変よいこと。台風が来ることや健診の日程など、LINE があれば速やかに受け取れることができる。スマホを持ってない方には文書や声掛けなど地域内で助け合いをすればいい。防災無線より受け取りやすい。結果、危機管理がしやすいと考えている。村の駅も素敵だと思う。流出人口のうち会津管内が 69 人とのこと。近くに転出していることを食い止める方法としていいのではないか。一般的に考えれば村内でもよいつながりが得られる。除雪などは人口が減っても面積はかわらない。きめ細やかにどこまでできるか。公費にも限界があることから、一定程度の判断が必要。プラットフォームについて HP で発信するのはいいこと。民間事業者のイベントや求人情報なども掲載されれば使いやすい HP になると考えている。これだけ農家や観光事業者があることから、村内での需要と供給のバランスを整えてほしい。

【村 長】村に雇用があるのかということは、これまでの懇談会で言われてきた。北山・大塩でと違って、裏磐梯地区は事業者が多い。皆さんが知ることができるよう、求人情報を掲載したいと考えている。イベント情報も村内の交流の場が醸成される。しっかりと考えていきたい。

【住 民】空家の活用とあるが、リフォームして貸すのと村営住宅も建てるということか。

【村 長】蛇平では村営住宅を建築している。北山地区では民間が造成をして建て売りするというもの。空き家の利活用については、県内初でバトンタッチ事業として、村が空き家を借りてリフォームをし、家賃をもらいながら貸すという方法をおこなっている。リフォーム代を回収したら所有者に返還し、あとは個々人で入居者に売るなどを進めるもの。村には空き家が 180 戸ある。今年度移住コーディネーターを設置して調査したところ、30 件ほどは活用見込があったが、他の方は売りたがらない方や家財道具が整理できないなどの課題があるようだ。まずは空き家バンクへの登録を進めていきたい。

【住 民】空き家バンクは HP で見られるのか

【村 長】見られる。間取りや全景なども載せている。

【住 民】自分でリフォームしたいという人もいる。村がするのではなく、リフォームできる補助などもいいのではないか。

【住 民】どこをみても空き家が多い。住宅を建てるだけでなく、空き家もお金を掛けずにリフォームをする手立ての方がいいのではないか。

【総企課】空き家の改修制度として、改修費補助 150 万円(1/2)と、解体補助 50 万円(1/3)がある。バトンタッチ事業は、所有者から村が借りてリフォームし貸し出す制度。先ほどの自らリフォームというのは、今後の状況を踏まえながら視野にいれていきたい。

【住 民】空き家の活用はいいが、働くところがなければ人は来ないのではないか。デジタルを活用した暮らしではなく、AI を取り入れた企業を誘致した方がいいのではないか。

【村 長】村の官民連携による住宅地の整備はアンケート調査をした結果、ニーズがあったから進めているところ。村営住宅は低所得者層が対象であることから、それを超えると出ていかなければならなくなる。雇用が無いから出ていくだけでなく、家賃が高くなるから近隣自治体に土地を求めて転出されている方も多い。今でもニーズがあることから、まずはそのような整備をして流出を防ぎ、近隣からの流入も進めたい。AI の企業誘致も大切な視点。先日東京事務所に伺い、企業誘致の意向がある旨を説明している。喜多方の工業団地す

ら埋まっていない状況。高望みはできないが、引き続き進めていきたい。

【住　民】空き家バンクは店舗でもいいのか。

【村　長】現在は住居物件が対象。

《人口減少対策》

【住　民】村は人口をどうしたいのか。

【村　長】人口の自然減をみると死亡者数が多い。転出者を減らして転入者を増やすことで、緩やかな減少、又は戻したい考え。

【住　民】増やしたいと考えなければ現状維持は難しい。

【村　長】飛躍的な増加は難しいと考える。まずは現状維持。

【住　民】別荘地が多く、住所を移さずに住んでいる方も多い。その方々がなぜ住民票を移さないか調べているか。PC1台で首都圏の仕事をしている方も多い。猪苗代に駐車場があれば出張時に使いやすく、利便性があがる。

【村　長】実態調査をしてみたい。

【住　民】IT ベンチャーをいれたほうがいいと提案する。そのような方への住宅情報の提供など。

【住　民】裏磐梯の良さを知れば定住するのではとのことだが、夏場にスキー場をイベントなどで活用できないか。もったいないと考える。

【村　長】村内には3つのスキー場ある。グランデコはマウンテンバイクの活用をしているようだ。案としては面白いと思っている。裏磐梯スキー場であれば、E バイクなどで銅沼に行くようなツアーも考えられる。自転車の事業者やスキー場所有者との関係もあることから次年度に向けて考えているところ。

【住　民】紅葉をみるだけでは若い人や子供はこない。若い層が来たいと思えるような取組みを進めてほしい。

【村　長】以前、郡山のインターン学生5名に裏磐梯を知っているか聞いたら2名だけだった。若い層をターゲットにした誘客を進めたい。

《地域振興》

【住　民】以前、曽原・狐鷹森の地域づくり委員会があった。いいところまで行ったが駄目になった理由は何か。

【副村長】地区の方々と行政が同じテーブルに立つことを目的としていた。通りに愛着がわくように名称を決め、サインの整備などをしてきた。自然公園大会に合わせて整備したというところで完結したと認識している。

【住　民】まだ継続していたと考えている。やならければならないことがたくさんあった。この村はある程度までやるとその後が続かない。問題を先送りにする。30 年経って何もよくなっていないと思っている。今は年をとって事業を続けることが難しい。ペンションも一緒。問題が複合化している。チョウザメやエミューも中途半端。解決しないから問題ばかりが増えている。今回の懇談会も意味がないのではないかと考えてしまう。

【村　長】過去にはそのようなこともあったかもしれないが、役場だけで考えるのではなく、みんなで考えて前に進むことが大切だと思っている。地域の中の課題は地域で解決することも必要だと思っている。一緒にやろうという意識が薄れてしまったのは残念。みんなで同じ方向を向きたい。村政懇談会は毎年行って、議会と共に村づくりをすすめたい。

【住　民】村に来て 25 年になった。このような会合を開いた記憶が正直ない。今回議員選挙があったことから、村も建設的になったのではと前向きに考えている。これまでは区長を通してでないと要望を伝えられなかったが、懇談会を開催していただきありがたい。地域住民の声を聞けるようなシステム作りをお願いしたい。

【村　長】私と話したいときはいつでもお越しいただきたい。時間空いているときはいつでも対応したい考え。気軽にお願いしたい。

【住　民】ペンションをしていることから観光事業に目が向きやすく、これまで住民目線ではあまり重きをおいてこなかった。しかし、住みよい地域になればお客が増えると考える。この懇談会はありがたいが、業種別で行うのもいいのでは。農業や観光業など。日々考えていることを議論して、その後全体でやるなど。デジタル発信の中で増えているのがテレワーク環境を求める方。テレワーク等を行うためチェックイン時間より早い時間にチェックインを求められても困っておりサイトステーションを案内している。中には個室ブースやオンラインミーティングスペースを求める方もいる。チェックアウトギリギリまで仕事をして、その後の Wi-Fi 環境を求める方もいる。ニーズとしてあるのであれば、そのような拠点があればさらに需要が広がるのではないか。今は経営をしていない建物がたくさんある。レンタルオフィスやコワーキングスペースなどもいいのではないか。年配になると前向きになりにくい。取組んでみたいと思えるようなサポート（後押し）を願いたい。ニーズの先取りをし、コミットして検証しながら続けることが大切。オフィスとして企業が入ってくる可能性もある。情報発信をし続けてやり抜いてほしい。リタイアした方々が活躍できる場を願う。

【村　長】当時環境大臣の小泉さんが来村した。その後、ワーケーション需要を見据えてきたが進まなくなった経過がある。これだけの環境の中、PC 一つで仕事をして癒されるのであればこんなにいい場所はない。前向きに進めていきたい。11 月から地域おこし協力隊として商工会に委託をする。事業者の事業承継や起業を目的としている。皆さんの状況やペンション業を学んでほしい考え。効果があれば、起業型の協力隊を追加で採用していきたい。

【住　民】宿泊施設にワーキングスペースを設けるのは嫌がられる。
泊まる場所と別なところに整備が好まれる。

【住　民】この資料にあるものを本当に実行するのであれば他人任せではいけない。村民も含めて個人個人が本気にならないといけない。どの程度本気に考えているか。他人ごとにならないように。みんなが一緒になってやる必要があると考えている。自分自身がやれることを考えて、みんなで勉強する必要がある。村も体制を変えるなども必要ではないか。

【村　長】行政がやる役割が資料にあること。村民の方の役割もあるのではと思っている。

【住　民】村民は村民で考えなければいけない。来てくれるお客さんにどのような印象を持ってもらえるか。また来てもらえるようにするなど。村をどういう村にしていきたいか。農業の方もいれば事業者もいる。みんなが考えて魅力的になるように。

【村　長】大切なのは人づくりだと考えている。ウェルカムなむらづくり。村民全員が挨拶できる村などでもすごいこと。そのような視点を大切に進めていきたい。只見線は今でもお客さんが利用している。昨年の 10 月に開通して未だに減っていない。住民が乗車しているお客さんに手を振るなどをしており、結果、地域への愛着を抱かせている。昨年、きずなクーポンを実施した。村民同士が交流を図ってほしいと考えて実施したもの。来年で 70 年を迎える。村民の一体化は課題として考えている。

《ラビスパ裏磐梯》

【住　民】いろんなことをしたいのはわかる。無駄を減らすということを考えれば、ラビスパ改修を保留とのことだが、アンケートもちょっと使いたいが多い程度。どのくらい修繕にお金にかかるか誰も知らない中での回答で、そこまで吟味されていない。休業するなど大英断を下していただきたい。その分、別に必要な部分に振り分ける作業。当時、ラビスパを建設した関係者は続けたい想いなのだろう。お金がないことを考えれば節約しなければいけない。お金をつぎ込むのは賢明ではない。

【住　民】譲渡や売却はどうか。

【村　長】今回は皆さんのご意見を頂戴することが目的。貴重な意見をいただいた。いろいろと検討してきたが、譲渡先が決まらないのが現状。そのようなことからも、村としては雨天時の利用やテレワーク環境整備などで大規模改修を考えてきたが、様々な状況から、立ち止まることとした。今年中に方向性を示したい考え。動かしているだけでも経費がかかっている。従業員もいる。

【住　民】磐梯町ではプールを改修しているようだ。

【村　長】プールゾーンの屋根改修だけで 5 億円かかる。それ以外の館内の施設の修繕を含めると10 億円かかる。国の補助で 1/2 充てたとしても 5 億円は村負担。これから先を考えた時に、合宿利用や学校教育、村内外でプール会員も利用はあるが、需要量はそこまでではない。温水プールの経営は大変厳しい。遠くない中で方向性を示したい。

【住　民】燃料費高騰で電気代が高くなっているようだ。中長期的に燃料代は間違いなく上がる。国の補助もいつまでつづくかわからない。今のうちから燃料代があがっても大丈夫なような取組みが必要なのではないか。住宅地整備や空き家改修もいかにしてエネルギーの効率化を図るかを今から進めるべき。国でも断熱工事などの補助があるようだ。住宅整備にもそのような視点を踏まえて持続可能な村づくりをすすめていただきたい。

【村　長】国でもカーボンニュートラルを進めている。村としても取組んでいきたい考え。

《子育て環境》

【住　民】給食費無償化や医療費無料など村独自の支援対策があるが、国保税の子ども均等割の無料化制度をやってはどうか、南相馬市や白河市もやっている。村のアピールにつながる。

【村　長】いろいろ考えている。ご意見を踏まえて精査したい。

【住　民】公園などもいいが、子供の人数(同級生)を増やしてほしい。山村留学などは難しいか。子供時代に裏磐梯での思い出があれば、大人になってから来るようになるのでは。

【教育長】スキーかスノーボードなどの競技をしたい、この自然環境の中で生活をしたい、という目的を明確にしている山村留学を希望する場合には受け入れていきたい。

【住　民】子供部屋はあまっている。受入れに対し負担にならない。

《教育環境》

【住　民】家庭にこもっている子供など、外からの子供を受け入れる考えはないか。

【教育長】今在籍している村の子供達の学校生活の安定を一番に考えていきたい。村の子供達に最高の環境を提供していきたい。そのため、受け入れにあたっては、保護者や本人とよく話し合った上で状況をよく把握し判断していかなければならない。受け入れてから周囲にマイナスになってしまっては、村の子供達のためにならない。

【住　民】裏磐梯は高校生になると距離が長くて大変。桧枝岐では若松に寮があるようだ。不便さを感じる。

【教育長】以前、桧枝岐小中学校の校長をしていた。桧枝岐は自宅から高校に通えない実情があり、16 歳になると全員村を離れる。若松に尾瀬寮があることから、若松に進学するのがほとんど。

【住　民】親が喜多方の特別養護老人ホームに入所している。村で整備していただき安心して住み続けられる環境を願いたい。そうすれば転出もしなくなるし村内での雇用にもつながる。私は村が大好き。県内外のお客さんに PR をしている。デイサービスはもちろん必要だ。建物をたてるとお金はかかるが要望として願う。

○ 長峯地区(10月17日(火)19:15~20:33)

《村の駅構想》

【住　民】村の駅とは何か。

【村　長】買い物、食事、交流、子供の遊び場といった複合施設として整備したいと考えるもの。住環境を整えることが人口減少を緩やかな方向にできると考えている。場所は北山地区。現在、村では数年前に購入した村有地を、官民連携により宅地造成と建売をする予定。村民の流出防止を図るとともに、選ばれる村づくりのための村の駅のような住環境を整備し流入人口を増やしたい考え。以前、リオンドールに出店を打診したところ断られた。50 万円/日の売り上げが必要とのこと。周辺住民の人数を踏まえれば北山地区だと 3500 人になる。

【住　民】どの程度の予算を考えているのか。

【村　長】6~7 億円かかると考えている。

【住　民】村の駅で住環境の向上をするとのとこだが、どの程度活用が見込まれるのか。喜多方への買い物も行けているし公民館(集会所)もある。どれだけの人が利用するのか。自然豊かな地域なのに遊ぶ場はないのか。

【村　長】喜多方市でもスーパーが点在している。これは、近くに同様の施設があることで利便性があがる。子供の遊び場がないことから、若者世帯は若松や猪苗代に通っている。昔は自然の中で遊んでいたが、現在はそうではない、安全安心を担保したうえで遊ばせる必要がある。

【住　民】村の資産をもっと豊かに使う方がいいのではないか。その辺にある施設を整備したことで移住に繋がるとは思えない。

【村　長】現実的にはそのような傾向にあるのが事実。

【住　民】これだけのお金を使うのであれば他の自治体にできないことをすべき。

【住　民】36 年ここで商売をしている。遠くからもリピーターが来ていただけており、関係人口に繋がっている。移住はなかなか決められない。関係人口を努力して増やし、いいところであることをもっと PR するにも自然を生かしてほしい。

【村　長】自然を活かさないわけではない。住環境の整備として、買い物難民も増えてくる。そのような方に対し身近なところで買い物できることは住み続けることにもつながる。

【住　民】買い物をする際はいろんなものを見たいから、結果街にでたい。であるならばバスを無くしたりせずに交通の利便性を良くしてほしい。その方が現実的ではないか。

【村　長】ご意見として頂戴する。

【住　民】北山地区への整備というが、桧原地区とは考えないのか。桧原地区は喜多方から距離があり遠い。北山であれば喜多方に行くのと変わらない。

【村　長】裏磐梯地区で大きな施設を整備するには制限がある。移動販売などでの利便性の向上を進めていきたい。又はネットスーパーなども考えられる。

【住　民】買い物についてはそれでいいとは思うが、子供の遊びはない。

【村　長】五色沼エリアの上質化の中で考えている。

【住　民】村の駅の利用率はどの程度と考えているか。私は利用しないと思う。結局は喜多方に向かうのではないかと思う。

【村　長】現時点でははっきりはお示しできないが、ある事業者に伺ったところ、50 万円/日はある

のではといったお話は頂いている。

《ラビスパ裏磐梯》

【住　民】観光客が裏磐梯に来たくても、雨が降った時にどこに行くこともできない。そのようなときにラビスパに行く方が多かった。私のお客さんで、今年、プールをやっていないことから那須に行かれた方が 2 組いた。ここに来る方にとってラビスパは目的にもなりつつある。子供が五色沼を散策するという方は少ない。ラビスパに予算を使うことは考えられないか。

【村　長】就任時、アンケート調査をした結果 50 数パーセントの村民が必要との回答があった。大規模改修には 10 億円が超える。維持経費なども考えれば多額の経費がかかる。

【住　民】修繕は続けるのか。使わなければ躯体の傷みが早くなる。

【村　長】現時点では保留。ただ、ずっと何年もそのまま置くわけにはいかない。課題を整理して結論を出す時期を年内に考えなければならないと考えている。休止に伴う経費などをしっかりと精査したい。

【住　民】どの自治体にもトレーニング機能を持つ施設がある。移住の視点からもそのような機能が無いのはマイナス。健康を考える方もいる。目の前のことだけでなく、20 年後 30 年後を考えた時に、ラビスパを守ることが必要ではないか。

【住　民】これまで、ラビスパで健康管理をしてきた。そういったことからも続けてほしい。

【住　民】ラビスパを修理する予算はとっていないのか。

【村　長】プールゾーンのテントの交換と鉄骨の塗り直しで2億円の修繕の試算がでた。その後、強度の診断をしたところ、もたないことが判明した。

【住　民】修理代の積立はないのか。

【村　長】3 億円程度はあるが、公共施設全体の基金となっている。

【住　民】屋根のないプールもある。修繕をせず、屋根をない状態での利用は考えないか。

【村　長】冬期間がもたない。またその環境で利用する方もいないと思う。

《道の駅裏磐梯》

【住　民】村の駅を整備するのであれば、道の駅にもっと投資をしてほしい。福島や坂下などは素晴らしい施設。今日も買い物をしてきた、村の道の駅は一番忙しい時期のはずなのに欲しいものがない。棚もスカスカ。飾り方にも問題がある。村の中で一番集客がある施設なのだから、駐車場をもっと広げて、お客様を呼ぶ環境にするなど考える必要があるのではないか。みんなが来たいと思える施設にすることが重要。例えば、イベントをする、マルシェ、手作り品の販売などを SNS などで発信するなどはどうか。今なら新米と豚汁のセットを販売するのもいい。地域おこし協力隊の金さんに海外向けに発信や、地域住民で得意な方がいるのでやっていただくなど。今はそのような時代。裏磐梯をもっと盛り上げてほしい。

【村　長】道の駅も SNS をしているが、発信力は弱いと感じている。

【住　民】施設が暗いし、いらっしゃいませもない。陳列もさみしい。
こっちから話しかけてやっと反応してくれる程度。

【住　民】レストランの入り口も従業員の顔が見えない。声掛けができていないと私も思う。あいさつが無いのは基本的な問題。

【住　民】声代えもできない状態。2 人でやっている時もある。閑散期は料理を作る人もいない。

【住　民】フロントにも人がいない。呼ぶと遠くから忙しそうにくる。

【村　長】募集をしても人が集まらない状態。その中でもしっかりとするべき。

【住　民】給料が低いからだと聞く。

【住　民】どの施設も人が少ない。それが当たり前の状況。その中でもしっかりやるべき。

《公共交通・路線バス》

【住　民】長峯地区にいる子供は 2 名だけ。高校生は喜多方で、裏中に1名通っている。東都バスが撤退してから1年経ったがバスの本数が戻っていない。今後どのような形で支援を考えているか。本数が少なく不便。高校生も乗るバスがない。

【村　長】喜多方線については、東都バスと同じ金額で運行を依頼したところ、会津バスではこのような本数となった。このたび、乗降調査を実施した。実態に沿った運行にしたいと考えている。19 時代は遅いとの声もある。見直しを図りたい。

【住　民】子供だけでなく、車の無い高齢者が乗れるバスがない。大塩までは戻って来れるがそこからのバスがなく家に帰れない。夕方まで待つしかない。

《人口減少対策・村営住宅》

【住　民】少子化問題だが、長峯も課題として捉えている。役場に少子化対策のチームを作ってはどうか。働く場や住居、子供の習い事など、他の市町村から比べても負担が大きいと感じる。それらをどうやってクリアするかをすぐにでも計画をたててやっていく必要があるのではないか。話しても決まらないと思う。まずは動き出しが必要だと感じる。どうやって増やしていくかの対策がほしい。

【村　長】役場内で人口減少問題について今年、協議してきた経過がある。これらの考えを踏まえて R6 に活かしていきたいと考えている。

【住　民】蛇平地区に住宅を建築中だが、入る方は決まっているのか。

【村　長】募集はこれから。アンケート調査をした結果ニーズがあったことから整備させていただいた。来年の 4 月からの入居を目指して進めているところ。

【住　民】剣ヶ峯に村営住宅があるが空き部屋が多いと聞く。リニューアルをして入ってもらう考えはないか。そのような状態で、なぜ新しい住宅をつくるのか。

【村　長】村営住宅には様々な要件があることから条件に合わない方もいる。

【建設課】村営住宅は低所得者向けに安価で貸す住宅となっている。収入に応じて家賃が高くなり、増えれば退去しなければいけなくなる。

【住　民】では、低所得者があらわれるまで空き部屋のままにしておくのか。

【建設課】せっかく住宅があるので、要件を緩和できるように国に働きかけている状況。

【住　民】国・県から予算をひっぱってくるようなメンバーを専門につくるのはどうか。お金がなければ何もできない。職員でもいいし、外部委託でもいいのではないか。

【村　長】国の財政診断をする中で、補助をフルに活用することが求められている。各課では補助金を探すことを前提としており、それに該当するような事業を構築するように指導しているところ。定数が 64 人。その人数だと他の業務を考えればギリギリ。ご理解を賜りたい。

【住　民】人口減少に関する先進地がいろいろある。北海道の東川町などが有名。先が見えているからこそ、早めに手を打ってきた結果。先進地に学ぶことが必要。女性の不妊治療に全額補助。脱石油をするため、薪ストーブ整備に半額補助。薪の管理も配送システムをつくっている。それにも国の補助を活かしている。結果的に住みやすい地域になっている。何かした

からすぐに人口が増えるわけではない。村の人口が減ることはわかっていたにも関わらず、この 10 年間、村はどのような対策をしてきたいのか。それぞれの課で検証することが必要ではないか。3つの大枠で具体的な事業がない。何をもってこの事業を上げているのか。

【村　長】私が就任し 3 年間やってきた中で、人口減少の顕著な例としては、北山地区が上げられる。村営住宅からの転出が大きい。土地がないことなどからやむを得ず会津管内に転出している方がいる。このような状況がまだ続く可能性がある。それを食い止めるために北山地区の住宅用地整備をしている。それに加えて、様々な支援を充実させて、他の自治体と比較して有利であるという状況をつくりあげて、村に来たいと思える人を増やしたいと考えている。先進地で人口が増えているのは長野県の原村もある。標高が 1000m。東川町と同じで、諏訪市のベットタウンのようだ。先進地に学ぶことは大切。関係人口の拡大については、ビジターセンターのトイレ工事を国が計画していることから、これにあわせて一面化することで、インフォメーション拠点にしたいと考えている。それに向けて国の満喫プロジェクトの中で上質化を進めている。そこに集約した方々をどうやって面的に広めていくか。村の良さを知っていただき、村民との関りを持っていただくことが大切だと思っている。ウェルカムの村づくりを目標としている。只見線は何か月後にはお客がいなくなることを心配していたが、今でも満員。これは住民の情熱によるもの。挨拶をする、乗っている方に手をふるなどを続けてきた結果。裏磐梯に 200 万人が訪れているわけだから、その関係性をどう構築するかを考えていきたい。

【商観課】現在、アルプス処理水の補助金を活用して、杉並区を中心に PR を行っているところ。

【住　民】全国など広いエリアにはやらないのか。

【商観課】県外向けであることから、情報雑誌への掲載や川崎、大阪での物販などもしている。

【村　長】PR については今一度考える必要があると思っている。ただ、村としてやれる予算がない。山塩は NHK で取り上げられてとても効果があがっている。

【住　民】行政の中だけで考えるのではなく、得意な方に声をかけることも必要であると思う。

【住　民】ここに観光客を受け入れるのは私たちの役目。人にお客が付くことがようやくわかった。いい環境の中でいい応対をするようにつとめていきたい。

《地域振興》

【副村長】地区の課題についてなにかあるか。

【住　民】なんといっても人がこなければ子供が増えない。昔、空き家になる前に、誰か来ないかなど東京にいる親戚に声掛けをして、お盆の時期に話し合おうとしたら 68 人集まった。だが会場が無かった。ふるさとに帰ってこれるような施策をするべきではないか。こんなに自然がきれいで雪もきちんと除雪される地域であり環境は素晴らしい。“ふるさとに帰ってこい、第二のふるさと”と PR を願う。

【住　民】10 年前と比べると景観が悪くなった。国・県に要望を願いたい。

【村　長】桧原湖の景観については自然保護官事務所にも要望をした。今年は東京電力にかけあった。現地をみて、来年度展望エリアの整備を行う予定。それ以外にも東京電力と連携して進めていきたい。桧原湖周遊の木の伐採も昨年は狐鷹森から早稲沢をやった。今年度は早稲沢から京ヶ森をやった。観光バスが走りたがらないようになってしまっている。裏磐梯地区の主な産業であることから訴えていきたい。少しずつだが進んでいる。

《村道整備・施設維持管理》

【住　民】村道について要望しているが、インフラは空家対策にも必要。一緒に考えて進めてほしい。

【住　民】長峯は桟橋を辺地事業で整備してもらった経緯がある。フロートが割れており、コンクリートも剥がれている状態、設備も古くなってきた、むかしは支柱がたって仕切りがあったが、何年かすれば割れてくると思う。危なくなってきている状態。加えて、今年は夏が暑かった。五色沼のバス停が閉まっている状態。炎天下で行列ができていた。冬は中に入れるようにしていただきたい。

【村　長】桟橋は担当課に確認させる。東都バスの所有として残っているバス停であり、一面化には撤去する必要があるが、交渉が必要。ただ老朽も激しく、一度確認する必要がある。今後は環境省と協議により整備されるものと思う。

○　剣ケ峯・秋元地区（10月18日（水）19：19～20：45）

《人口減少対策・子育て環境》

【住　民】4,5 歳の子どもを育児している。裏磐梯で仕事がなければ子育てができないが、幸いにも親がいるから何とかなっている。認定こども園ができると聞いてから未来が見えた。これから宿泊事業とシェアハウスで仕事をしたいと考えている中だったが、今年になってこども園の整備が保留になった理由は何か。少子化問題を謳っている中でこども園の必要性は高いのではないか。ファミサポの事業も聞いていたが、途中でできなくなったようだ。幼児を預かる施設が裏磐梯に無い。北山に通うのは現実的ではない。今後の展望を教えていただきたい。

【村　長】認定こども園は、3 年前に検討委員会を立ち上げて検討してきた。対象を 0 歳から就学前を予定した場合、職員 13 名、建設費用に 2 億円、運営費に年間 8000 万円以上かかる試算がでた。村の職員定数は 64 名。このような状況で職員をかかえることが困難となった。やめたというわけではなく、立ち止まって考える必要性が出てきたもの。

【住民課】ファミサポについて、検討の経緯としては、喜多方市と締結している定住自立圏共生ビジョンの中で圏域住民に対して喜多方市のものを村民も同様に使用できないかを検討しているところ。現実的なスケジュール感は見えていない。

【住　民】ファミサポ研修を受け、お手伝いもできるかと考えていた。ただ喜多方市に断られた。

【住民課】喜多方市と行政ベースで協議しているところ。実現に向けて取組んでいきたい。

【住　民】人口減少の原因はなんだと村としては思っているか。今に始まったものではない。効果がでていないのは原因をつかめていないのではないか。

【村　長】私は結婚をして子供はいるが、育ったのは別な地域。今は夫婦でいるから実質的に減少した。村の子どもも学校に進学してから戻ってこない。結婚をする方が少なくなってきた。よって子供も少ない。高齢化によって亡くなる方のほうが産まれる人数より多い。村の転出人数のうち、大型ホテルの運営の関係から従業員の要素もあることから、転入してもいつかは転出してしまう。全国どこでも同じことがある。ただ、北山地区では、村営住宅に住んでいた方が、収入があがると家賃があがり、土地を求めても村にないことから近隣自治体に転出している人が多い。学校の子どもが、希望する部活ができないことを理由に小学校の卒業のタイミングで転出する実態もある。いろんな要素が絡み合っていると思う。

【住　民】それは現状であって、原因ではないと思う。国や県もその原因をつかんでいるのか。

【住　民】それは日本全国的な問題。そこの原因の追究は難しいのではないか。

【村　長】複数の理由が絡み合っている。高齢化の上昇も同様。ただ何もやらないわけにはいかない。若者の移住や環境の整備により村を選んでもらえるような PR をしていきたい。新たな施策を打ち出しながら、減少のカーブを緩やかにしたい。

【住　民】現状で子供を育てるのに苦労している。こども園の整備は現実的には無理なのはわかる。しかし、人数が増えてから施設をつくるでは意味がなく、施設が無ければ人は更に来ない。子供の人数や先生の数に左右されない整備方法をみんなでアイデアを出し合って策を練るのが大切だと思う。

【村　長】そのような視点は大切。貴重な意見ありがたい。

【住　民】率直にこのような機会が設けられたのは前進だと感じている。地方はどこも同じ状態。高

齢化、少子化、財源不足など。東京に一極集中しているのは仕事があるから。根幹的な部分を忘れないで欲しいのは、ここに住みたいと思っている方々を考える必要がある。除雪、仕事、住環境を考えれば現状住めない。正直、この場を 20 年前に実施してほしかった。財務の問題を含めて詳細に熟慮する必要がある。隣の芝と同じことをするのではなくオンリーワンを目指す必要がある。中途半端はやめてほしい。交流人口、観光人口を増やすにはどうすればいいのか。裏磐梯を知らない人が多すぎる。私の友人でも 2 割程度だった。まずはそこをなんとかしなければいけない。空き別荘の活用など。頭のいい方々が知恵を絞って、具体的な計画をお願いしたい。

【村　長】知名度においては私も同感。サラリーマン時代、会津を離れて福島、白河、いわきを勤務した。同僚に北塩原村を聞くと認知されていない。裏磐梯や五色沼の認知度は高い。喜多方ラーメンの隣などというと理解される。村のイメージはやはり裏磐梯。会津管内の市町村からは、有数の観光地を持っているという意識からうらやましがられる。ただ、それは県内の方の目。県外になると下がる。これからは村を売ることが大切であると感じている。昔は松陽台を PR するのに東京でチラシ配りをしたようだ。そのような直接訴える情報発信と SNS の併用も必要。いろんな手立てを考えたい。

《情報発信》

【住　民】厳しい現状はわかった。情報発信のプラットフォームとは。デジタルを活用した暮らしの利便性とは。

【村　長】村のホームページが遅れていることから、リニューアルを進めている。そのような情報について SNS を活用した、村民と行政が直接つながる情報の伝達を考えている。来年度においては、スマホの教室などをしながら、利便性を図りたい。

【住　民】子育て支援として新たなメニューとは何か。

【村　長】就任時に学校給食無償化をした。それ以外にも子育ての中で何が困っているか。国でも様々な施策をしている。それらの状況をふまえて、整理をしている段階。

《人口減少対策》

【住　民】人口減少は仕方のないことと認識している。若い人は稼ぎがいい海外のほうがいいと思っている人もいる。蛇平に4棟つくるとあるが、誰も来ないと思っているが、それでも僅かだが来る人はいる。私もその一人。不便だと認識してきた。そのような人をどうやって取り込むか。こども園の建設は難しい。猪苗代にお願いするしかないのではないか。自治体の境界をとっぱらって行うなど。私の時代と比べれば預かりなども増えて便利になったと思うが、他の地域が同レベル以上だから不便と感じる。私は当時、スキー場の託児所に預けた。若い人が子供を育てながら生活するには苦労する地域。若い人がそれをわかって来るかは疑問。裏磐梯中学校は再来年 9 名になる。学校として成り立たない。猪苗代中学校にお願いしたらどうか。息子がいた時代で全校生徒 45 人だった。若松の高校にいくと 1000 人規模になる。それで対応できなくて中退した子がたくさんいる。みんなやさしいから生活できてきたが、大規模校に行けば子供はやられる。北山も喜多方三中に通えるようにすればいいのではないか。分村して近隣に合併すればうまくいくのではないか。事実、千貫の子は猪苗代に通っている。難しい話ではない。

【村　長】小中学校は市町村立であることから、その自治体の住民が通うというのが基本。裏磐梯地

区が立ち行かなければ村内での統合が先行されると思うが、村としてはしたくない。

【住　民】村内の統合は距離的に無理。不便さが増す。だったら猪苗代にするべき。本当にできないのか。部活もできなければコミュニケーションも図られない。このような取組は他の市町村で例がないと思う。村が最初の事例になれば話題にもなるのでは。北山と合併するなら、更に人は来ない。猪苗代に住むのが現実的になる。

【住　民】私も正直、猪苗代を考えた。猪苗代に住むことも。その考えになれば出ていく。

【住　民】小さくてどうしようもないことから周りに頼るしかない。

【住　民】20 年前といったのはそういう視点から。意見はごもっとも。行政側もわかっているのではないか。時間が無い。定住人口を増やすにはターゲットを絞るしかない。私も子供を塾に通わせるのが大変だった。子育てに適していない。

【住　民】好きな部分もあるから仕方なく住んでいる。これからの人に対してクリアしてあげたい。これから住んでもらう人のために考えてほしい。行政にはできない発想だと思う。子供がかわいそう。

【住　民】国は磐梯山と猪苗代湖を一緒に見ている。単村であることからもってこられない補助事業もある。議員をしたことで行政の頑張りや議員の必要性を認識できた。議会を経験しなければ村に対して不信感をいだいていた。お金がないこともわかっていることから、教育のレベルや福祉のレベルを下げないためには、私たちがあとどのくらい稼げば保てるのだろうか。国の方は、困っている地方自治体に限ってしっかり要求しないと言っていた。村のような小さな自治体は頑張るしかない。福島の夕張にならないように。分村は必要だと考える。本当にこの村にとって一番いい方法を考えてほしい。検討委員会を立ち上げるなども一つ。村の駅に 5 億円をかけるなら別な部分に予算を投じてほしい。

【住　民】資料の矛盾を指摘したい。高齢化対策はどこにいったのか。この村に生活介護施設がなく、最寄りは若松とかになる。障がい者や高齢者に対する共通した施設を検討していただけないか。行政に子どもを診断してもらった時に今でも記憶していることがあり、当時の職員に受け身をとれるかと聞かれた。普通に考えて、幼稚園児はできないものと認識している。もう少しきめ細かな対応が欲しかった。障がい者にも門戸を開いてほしい。この村には相談するところがなく私はいつも泣いていた。小学校をどうしようか考えた時に猪苗代支援学校を選択してよかった。他の自治体との連携を願う。磐梯町では公式 LINE を導入している。村でもお願いしたい。

【住　民】私には子供がいないから子育てはわからない。村に来たきっかけは仕事の転勤。私としては引越しするきっかけとして職が伴っていないと厳しい。この地を惚れ込んだ人もいることからそのような人をターゲットにするもの一つ。移住は仕事か家族で選ぶことが多いようだ。移住者を呼び込むには仕事の視点も重要と思う。村で仕事を用意することは難しいと思う。企業の誘致を考えているのであればうれしい。その他、村民みんなで知恵を出し合う。これまで人口減少について真剣に考えたことがなかった。なぜ人口が減ったらまずいのかが知れれば、自分のこととして捉えられるのではないか。税収が減ってできなくなることが増えれば自分事として考えるのではないか。みんなで考えみんなで前へは好きなフレーズ。みんなで意見を出し合えばいい。村では移住者に対する情報誌を発行されているが、インタビューを受けた経緯がある。この村に来てよかったのは人がとても素敵だったこと。ただ、他の地域の移住者も同じことを言っている。村の進めたい方向性があるのであれば、その視点でインタビューをすればいいのではないか。子供の人数は少なくても

運動能力が高いなどの魅力発信を。子供にとっていい環境があることと悪いところを PR できればターゲットが絞られていい。

【住　民】人口が減ればサービスができなくなる。人口が減った場合、水道料金やゴミ袋代が高くなるなど具体例が示されれば、みんな危機感を抱くのではないか。

【副村長】簡単な試算だが、交付税は交付額を住民数で考えると 35 万円/人。100 人減れば 3500 万円減。村は、補助金や起債を活用すれば約7倍の事業が行えることから、3500 万円減れば、約 2 億円の事業ができなくなるということになる。

【住　民】今日はありがとうございます。私は発達障がいの子がいる。生活スキルを高めるところが必要だったが対応できるのが会津若松市にしかなかった。医療と福祉と教育の連携を図っていく必要があると感じている。無いものをつくるのは難しいかもしれないが利用しやすい環境づくりは必要。子供が少ないのであれば、障がい者など少数派に対する支援を充実するのがいいのではないか。村には感謝することもたくさんある。普通学級にするが養護学級にするかを先生や行政の方々と相談してきたときに、裏磐梯に特別支援学級をつくっていただき、就学することが出来た。子供との関係性を構築できた。引き続き協力しながら課題を持った子でも生活できる仕組みづくりを願いたい。

《村の駅構想》

【住　民】村の駅の整備とは、どのような規模か。新潟県五泉にラポルテという同様の施設がある。大変便利。予算はどの程度か。

【村　長】買い物、飲食、交流、遊ぶことができるような福祉施設。スーパーに打診をしたが出店は難しいとのこと。商品の供給管理はできると聞いている。ミニスーパーを整備しなければ、生活が行き詰まると考えている。予算は 6 億円くらいか。

【住　民】箱モノ行政はやめてほしい。道の駅も猪苗代よりは坂下の道の駅が喜ばれる。中途半端であればお客さんに推薦できない。猪苗代は大きいだけで買い物がしにくい。蛇平にも住宅を4棟建てているが、別なところにお金を使ってほしい。

【住　民】明石市では人口が増えているとのこと。子育て支援だけでなく、インフラも整備されている。公共施設に生理用品も配置されている。村には女性の課長がいないようだ。お金の使い方が男目線。子育て世帯は待ったなし。クーポン券事業を村はなぜかやめてしまった。買い物も村外に行ってしまう。今ある商店を継続するためにも支援が必要。ガソリンも猪苗代の方が安い。車検も同じ。昔は雪が多いことを理由に自動車税の減免措置があった。固定資産税も減免があった。暖房費も大変だし、除雪も必要。インフラの整備、プレミアム商品券の継続をぜひお願いしたい。除雪車が通るとペンション前に雪が置かれてしまう。高齢者は雪をどかすことができない。建設課に何度も言っているが対応してくれない。村がしっかり指導してほしい。他業種を取り入れるような取り組みを。

【村　長】そのような視点も含め検討している。これまでがこうだからこれでいいではなくて、高齢化が進む中でどうあるべきかを協議しているところ。次年度に全てを盛り込むことはできないが、できるところから進めていきたい。行政だけではなく、村民の方にやっていただく役割もある。それらをどう構築していくか。裏磐梯に訪れる観光人口をどうやって交流人口、関係人口に広げていくか。村は他のエリアと比較して有利。私が必要なのは人づくりだと思っている。そのような点にも力を入れていきたい。

○ 谷地地区(10月19日(木)19:17~20:19)

《人口減少対策》

【住　民】様々な施策で人口問題を解消すとあるが、転出者の数値はわかるが、転入にはどのような方が多いのか。その方に対する対策をすればいいのではないか。

【総企課】転入は 83 名。県内が 25 名、県外が 58 名となっている。※転入の都道府県を説明

【住　民】年齢層としてはどのような方なのか。退職し引退をされた方か、テレワークでの仕事をされる方か。

【総企課】主に裏磐梯のホテル従業員によると考える。

【住　民】会津管内に 69 名というのは把握しているか。

【村　長】村営住宅から転居されて、土地を求められた方が多いと思われる。所得が増えると家賃が増えることが原因。

【住　民】せっかく村営住宅に入った方に、補助をつけて住まわせることができないのか。村が好きで来てくれる方も多いのではないか。その辺を考えていかないといけない。谷地も同居して子育てしている世帯が 2 件ある。メリットがあるから同居していると思う。役場がその実情を把握する必要がある。数字だけでなく、実態の調査を願う。アンケートではなく聞き取りを。人口減少はどこの自治体も抱える課題で、一部の地域だけが解決できるもの。今住んでいる人にとって住みやすいまちづくりが大切だとの論説がある。

【村　長】村営住宅の補助については、そのような視点の検討も必要と考える。それとは別に住宅を建てるという部分について転入者を増やすことにもなることから進めたい。現状、転入時に聞くことができていない。聞くにも難しい時代。個人情報への懸念も考えられる。区長さんの方から情報の提供をいただくのも一つか。そのような聞き取り調査ができる要素があれば考えていきたい。村の魅力の発見にもつながるかと思う。

【住　民】個人情報に触れるかもしれないが大切な部分。聞き取りをしなければ人口減少対策につながらない。寺ノ前の件だが、夏場に戸をあけると油のにおいと騒音が気になる方がいるようだ。虫の問題もある。村としての介入は考えているか。

【村　長】確認してみる。

【住　民】官民連携の住宅整備だが、どのように魅力を発信していく計画か。

【村　長】村内の幼少中の保護者に対し土地を求めるかのアンケートを行った。その結果 13 世帯から希望があった。民間事業者に売買し、相手方で開発するもの。

【住　民】アンケートは村民が対象か。流入になるのか。

【村　長】村内で埋まれば流出にならないという考え。また、需要があるのであれば他に村有地があるから新たに事業化して流入にもつなげたい。

【住　民】村内若者優遇策は繋がっているのか。

【総企課】現在は村外向けの補助金があるが、村民に対するものがないことから、拡充して流出しない施策を進めたい。

【住　民】日中ダムの水路があるが、よけてあるのか。

【総企課】承知しており、そこを除いて分譲する。

《子育て環境》

【住　民】保育環境の整備に関連して、谷地の公園にある遊具だが、これまで社会福祉協議会の補助

を受けて修復してきたが、耐用年数がすぎて修理できないとのこと。市だと都市公園の位置付けで遊具整備を定期的に行っているが、村は予算化していないのか。遊具ができた時期が不明。行政としてどのように認識しているか。

【住民課】社会福祉協議会の関係で答える。それぞれの集落にある遊具はそれぞれ経緯があるようだ。村の施設としていたものを譲渡したものや、行政区が区費と補助金を活用して購入して整備など。村では管理をしていない。社会福祉協議会の報告によれば、これまで確認いただいていた事業者は、溶接などをして修繕を行ってきたが、安全面が懸念されたことから別事業者に確認を依頼したところ、溶接での修繕はできないことと、耐用年数が過ぎていることが指摘された。現状としては、人口減少で行政区の世帯も少なくなってきていることから、行政区での管理は難しいと思う。村の駅構想の中で子供が喜ぶような新しい遊具を設置する方向で考えており、そうすれば村が管理となる。若い世帯も気軽に行くことが出来る。

【住　民】行政区で維持していくのは難しいと考えている。村の施策として村の中心に整備していただければ保育環境の整備になると思う。

《村の駅構想・ラビスパ裏磐梯》

【住　民】ラビスパを保留にして、村の駅とあるが構想はどの程度進んでいるのか。

【村　長】選挙時の公約の一つ、買い物、食事、交流、遊び場の複合施設を大枠で考えている。立地場所など具体的な考えは示していたい。

【住　民】地区を見渡すと 80 前後の方が増えてきた。買い物難民が増えてくる、それに対して考えていることがあるか。車で行けない方も含めて。

【村　長】村の駅の整備で考えている、送迎バスなどを含めた構想を検討している。谷地にもコミバスを検討してきたが、今後のことを考えれば買い物バスなどの運行が必要と考える。

【住　民】村の駅の運営を考えるのであれば、喜多方に行って買い物をしたいという人が多いのではないか。人口が減って箱モノを建てるのであれば、移動販売などできめ細かく対応した方がいいのではないか。柳津の事例をみて思った。

《その他》

【住　民】情報発信プラットフォームとはどのようなことか。

【村　長】村民と行政をつなぐものが少ない。区長便で村から一方的にチラシを渡している。スマホを利用した情報の発信を考えている。行政サービスの提供も将来的に考えている。スマホ教室などの必要性も考えている。

【住　民】昨年の要望書の進捗はどうなっているか。杭が未だに打っていない。

【村　長】持ち帰って調べてみる。

【住　民】谷地の水道管ができて 70 年経過している。家周辺の水道管が 3 年前に漏水した。耐用年数はどの程度か。

【建設課】耐用年数は 30 年ほど。まずはデジタル化を優先して進めている。これが済めば管路の布設替えを予定している。漏水については順次対応していく。

【村　長】布設替えの計画はできているのか。

【建設課】敷設状況の調査は終了している。古い順から入替する予定。

《空き家対策》

【住　民】隣の家が空き家で困っている。竹藪がありその竹が我が家の畑などに侵入してくる。老朽しており獣の巣にもなっているようだ。作付けした野菜などが食べられる。電気柵を村の補助で設置したが、一番は空き家の建物の問題。伐採などをしているが、地権者が東京にいるようだ。行政で何かできることはないと思うが、困っている。

【村　長】地権者に対し区で動いたことはあるか。

【住　民】地権者は亡くなったとの噂がある。喜多方に娘がいるようだが、相続放棄をしているとの見解。法務局に調べたら名義は変わっていない。子供が勝手に放棄している。

【住　民】固定資産税はどうなっているか。

【税務課】相続放棄をしていることを確認している。建物があれば相続放棄したとしても基本的には管理する義務がある。

【住　民】代執行することはできないのか。

【総企課】経費を回収見込みがないものは難しい。

【税務課】相続された家や建物を処分するには相続財産管理人を立てる必要があり費用も高額。高く売却される見込みが無ければ費用負担が大きくなってしまう。

※滞納があり不動産を公売する場合には、村が裁判所に申し立てを行い、相続財産管理人を裁判所が選任。（相続財産管理人に係る費用負担は申立人。）プラスの財産、マイナスの財産全てが対象となることから現実的には費用負けしてしまう。不動産の管理関係は、相続放棄しても本来相続する方（法定相続人）が責任を負うこととなる。

【住　民】地域おこし協力隊の活動について村内に周知してほしい。

【総企課】広報で周知している。空き家の状態確認なども区長に確認している。谷地では 3 件把握している。

○ 蛇平・小野川地区（10月20日（金）19：17～20：45）

《子育て環境》

【住　民】少子化対策で子育て環境の整備と支援の拡充とあるが具体的にどのようなものか。ファミサポという制度が全国で広がっているが、仕組みづくりは行政と認識している。

【住民課】ファミサポとは地域住民同士で子供を支え合う制度。村ではまだ行っていない。人口規模が多い自治体では進んでいる。近隣では喜多方市が実施しており、喜多方市とは定住自立圏の協定を結んでいることから、その協定の枠組みの中でファミサポを盛り込むことを検討しているが、スタートの時期は未定。このような状況を踏まえ、早い段階でファミサポができるように進めたい。提供会員数の規模から村単独での実施が難しい状況。自治体分け隔てなく進めようとしている状況。

【住　民】猪苗代では児童館として無料でいつでも預かれる制度がある。村の住民も使えるようだ。そのような情報は知っているか。

【住民課】確認していなかった。確認してみる。

【住　民】少子化対策で子育て環境の整備とあるが、実際はその以前のことをしなければいけない。独身の男女が出会えるもの。昔は世話人がいた。そういったところから始めて、結婚してくれれば人口増加につながるのでは。役場にも独身者が多いようだ。

【村　長】出会いの場ということで、結婚の成約率が少ないようだ。広域の関係もあるが喜多方市と西会津町とともに婚活の場を作ろうとしている。西会津町では村内で穴釣りをしたようだ。正直参加者が少ない。何がいいのか、どういう形だと参加するのか、そのことも広域で考えている。マッチングアプリもある。結婚に至らない、出会わないことの解消は大切な施策。

《人口減少対策》

【住　民】村民になって 16 年たった。いろいろ思うことがある。他の地域でどのような意見が出ているか知るすべはあるか。我々は他の方の意見が知れない。SNS などで村政懇談会の情報を前もっていただければ考えることができる。皆さんは村が本当に好きか？私は好きだ。娘が地元に就職している。友人は県外にいっている。雇用があるのかということが一番だと思うが、どう考えているか。

【村　長】懇談会の中身については、最終的には公表したいと考えている。それぞれの地区別ではなく総体的にまとめて出す予定。地元愛については、皆さん好きで住んでいるようだ。他から来た方も好きできたとの意見が挙がった。特に小さい自治体では子供に対して戻って来いと言わない家庭が多いようだ。家を存続させたいという思いがあるのであれば家庭の教育が必要と言われている部分もある。雇用の関係は、企業誘致活動として行っている。ただここに企業したいという事業者はいない。ただ、ここは好まれている地域。起業をしたい方への支援などを考えていきたい。ここで仕事を見つけることに支援ができるように。

【住　民】転出が 162 名とあるが、どういう方がどういう理由で出られたのか。転入はないか。

【住民課】県内転出としては喜多方市へ 40 人と一番多い。転入は 83 人。（※転入・転出の自治体名を説明）住民課では転出転入の理由を聞くことはできないが、県外であれば大型ホテルの異動が多いと思われる。県内だと村営住宅から転出して近隣に住まいを求めている人が多い。就職での転出という方もいる。

【住　民】企業が無ければ転入は難しい。安心して住み続けられる村とあるが、具体的には書いてい

ない。高齢者が安心して住める具体的なことを示してほしい。

【村　長】このような視点で物事を考えていきたいという方針を示させていただいた。住環境の向上という部分では、村の駅を整備するとした。公共交通もいまの状態がいいと考えていない。懇談会での意見や生の声を聞いて見直していきたい。高齢者には除雪が大変だと認識している。高齢者の方の除雪の在り方についても見直しが必要と考えている段階。

《村の駅》

【住　民】村の駅を北山に整備すると聞いた。喜多方に近い地域。どのような需要を見込んでいるか。

【村　長】構想の段階。村の駅は北山・大塩地区で 1500 人、近隣を含めれば 3500 人いる。磐梯町にリオンドールができたが、3500 人では最低ラインとのことだった。磐梯町へのリオンドールの出店は、地域貢献という形で出店したようだ。

【住　民】村の予算を使うということであれば、はっきりとした構想が必要。ラビスパみたいに無駄にならないように。修繕ばかりで形にならない。よくよく検討して整備いただきたい。

【村　長】村に限らず全国どこでも人口減少が進んでいる。県外からの流入は難しい現状がある。村の方向性として、今いる方々が転出しないような施策について、重点を絞って進めるしかないのではないか。残っている方々に福祉にかかる負担が増える。今あるものを活かして人が住みやすい方法を創出してほしい。

【村　長】人口減少の進んでいる理由が、住宅地がなくて近隣に転出している人が多い。せっかく村に住み続けたいと思いながらやむなく転出したといったケースを無くすために始めたのが、官民連携による住宅用地の整備である。このようなことを進めながら支援策も加えて需要が発生すれば他の村有地についても活用ができる。家が建てば人が増える。そこに村の駅があれば住みやすい環境に繋がる。そのような方針を掲げながら講じていきたい。

《移住・定住対策》

【住　民】若者定住事業で予算化されたが、何戸だったか。次年度はどのくらい予定しているのか。移住コーディネーターがいろんな意見を聞いているようだが、具体的な移住に繋がる予定はあるのか。

【村　長】蛇平地区の若者住宅は 4 戸を予定して進めている。移住コーディネーターは空き家の状況調査を行い情報発信と共に窓口業務での案内をしている。直近でも住んだという方もいる。新たな取組としてバトンタッチ事業を開始した。村が所有者から家を借り、リフォームをして移住者に貸すシステム。村の投資分を回収したら所有者に返却して、民民で契約を促進したい。今年度初めて実施した。親身になった案内をしている。

【住　民】4 戸には入る人が決まったのか。新年度では何戸整備するのか。

【村　長】これから募集。新年度はない。

【総企課】移住コーディネーターを 5 月から採用し、村の空き家の情報収集や HP・SNS による村の魅力発信、首都圏での移住相談会などを担当している。バトンタッチ事業について、先日面接を行い、移住につながることとなった。

【住　民】一組成立したとのことだが、空き家は何戸ほどあるのか。

【総企課】空き家は 172 件、活用見込は 41 件。

【住民課】若者住宅は賃貸か。募集はしていないのか。

【村　長】賃貸。募集はこれから。空き家は村が全てをリフォームするわけではない。予算が伴うこと

から少しずつ進めている。まずは空き家バンクに登録していただいて、売買に繋げようとしている。

【住　民】バトンタッチ事業で移住される方の年齢層は。

【総企課】男性が 40 歳前後、女性が 20 代だったと記憶している。

《高齢者福祉》

【住　民】住んでよかったと思える村づくりを目指していると思うが、40 歳になると皆さん介護保険料を支払っていると思う。介護保険事業を使われる方の年齢層が 10 年前と比較して変わっており、軽度の方も多い。先日の社協のチラシで、介護保険事業で 500 万円の赤字と出ていた。社協でしている事業は独立採算が原則のことは承知しており、売り上げで賄えるもののはず。昔は重度の方がいて単価も高く成り立っていたが、今はスタッフの確保事態が困難。広い地域を 4 台の車で回って送迎している。街中と比べると単価が全然違う。3 年ごとに見直しがされ、そのたびに村は最小限のサービスしかできない現状があるなかで、加算ができない状態。ヘルパーを募集してもなかなかこない。人件費だけでも村から助成できないか。

【住民課】村が行っている対策は、人件費について R4 は 600 万円補助した。コロナによる利用控えや利用を断ることがあったため。村としては補助するだけでなく、社協と毎月会議を行い共有している。その他、デイサービスセンターが村の大事な高齢者施設であることを感じていただくための広報やデイ事業となるように指導している。施設も 20 年以上経過して老朽している。設備についても送迎車の購入や入浴施設リフトの更新などをしている。村としては、毎年施設の管理委託料で1千万円以上負担している。本来は独立採算。高齢者が安心して生活できるように取組んでいる状況。

【住　民】床暖房も壊れているようだ。スタッフも館内で 5000 歩以上歩くくらい広い状況。スタッフに安定した賃金が支払えるように当初予算で盛り込んでほしい。既存施設を修繕するよりも小規模施設を 2 箇所整備してはどうか。空き家の活用ができる。身近に感じられるようにいろんな方法を考えてほしい。対応する地域が広すぎる。

《村の駅構想・ラビスパ裏磐梯》

【住　民】どれも具体的な取組がない。どのようなタイムスケジュールで実現するのか。村長は所信表明で同様なことを言っていたが、3 年経って今更何をしていたのかと思ってしまう。転出しか書いていなく転入が書いていないのは、人が減っていることばっかりを印象づけるような資料作りもどうかと思う。子育て環境の整備とあるのに認定こども園はしないのは相反する。見直しとあるがこれだけのことをするには財源が足りないと思う。村の駅についてどのように考えていくのか。質問がないならこのまま進まれそうなで聞くが、なぜ北山地区なのか。なぜ村の駅なのか。

【村　長】村の駅を作るのは、住環境を整備して環境を良くしたいというもの。買い物ができる、食事ができる、交流ができる、遊ぶことができるような複合施設をつくって、村民、近隣住民、観光客が集える施設をつくりたいという考え。

【住　民】先日の全員協議会でも出たが、かつて 300 人いた農家が減っている。平均年齢も高い。続ける人も少なくなる状況にあって、売り場を作っても売り手がいない。順番が違うのではないか。村で施設をつくって指定管理をするといっていたが、リオンドールからも否定

されていると聞く。民間ができないものを村でやるのはどうなのか。皆さんにきちんと話さないで進めるのはいかがなものか。収支など具体的な説明がないのはいかがなものか。5 分走れば喜多方に行けるからいらないという声はないのか。北山よりも裏磐梯にあることが望ましい。若者住宅の近くに整備するなど包括的に進めるべき。思い付きで進んでいるのではないか。ラビスパの存続についてアンケートして、53%が続けてほしいということでこれまで修繕することとしてきたと思うが、村長がやりたいといってきたものをやめて整合性があわないものをこのような形ですすめるのは本当にいいのか。議会できめたことが履行されていない。村長はラビスパを修繕してきちんと健全な営業ができるようにしたいということを議会に申し出て、いろんな予算が承認されてきた。実際に基本設計でお金がかかり、あと調査費もあった。昨年度はタイヤボイラー新設するっていうことで 5000 万円近いお金がかかり、今年度に実施設計費で 2400 万円。今年の春の 3 月の議会で村長がやりたいって言って議会で承認もらったものをひっくり返して、予算的に整合性の取れないといった話を進めるのは、本当にこれで大丈夫なのかなって思ってしまう。 議会で議決したものを村長の思いつきみたいな形でやらなかったり、見直しをしたりと、 議会で決めたことが全然履行されてないってことが、あまりにもちょっとどうなのかなと。実際にプールが使えないことで営業にならない。村民の税金を使って補償金を今後も払い続けるのか。ラビスパの修繕には 10 億円かかるなんていう噂広めてる方もいるようだが、国の補助金使ったりすれば月々あたりの負担額は相当減額するはず。ここでは具体的に数字は言っていないが、村の駅を作るときにどの程度予算をかけると説明したか。

【村　長】村が危機的状況にもあるにも関わらず、進めていいかということを皆さんと考えて進めていくということが目的。若者や高齢者が安心して生活できる環境づくりが優先すべきではないかという判断によるもの。北山地区につくったとしても路線バスの停留所や移動販売などで村内全体に利活用できるようにしたいというのが一つある。ラビスパの大規模改修には 10 億円かかるが、国の補助制度を活用すれば半分になるということもある。しかし、これを現時点でやるということについて皆さんと考えたいという思い。

【住　民】村の駅はどの程度の予算と説明したか。

【村　長】6～7 億円。

【住　民】ラビスパの改修経費は、月々にすれば 1000 万円くらいの負担で済むと当時きいていた。一般的な家庭で言う預貯金に値する財政調整基金があるが、5 億 6 千万円とのこと。それを上回る 6 億円の事業をやろうとしている。そもそもこの構想は村の振興計画にあるのか。

【総企課】振興計画にはない。

【住　民】無い事業に国の補助金はつかない。村の貯金以上の事業をするのはとんでもないことになるのでは。その他にもやることを進めれば人口減少対策は成立しない。

【村　長】振興計画に追加することで考えている。

【住　民】具体的な案が無い中で進めるのは卑怯だと思える。懇談会として皆さんからいろんな意見が出てくるはずだと思うが、そういったものを全部隠して、他の事業の中に盛り込んでおいて、 何も反対がなかったから振興計画に追加しましたからやりますっていうのは、やり方としてどうかと思う。

【村　長】隠しているわけではない。方針として示しているだけ。

【住　民】夕張みたいに破綻する。自分の地域に実績をつくるのは選挙対策ともうけとれる。

【村　長】なにもしなければ人口減少がどんどん進む。その一つがラビスパ改修の保留とそれに代わるものとして住環境を整備して人口流出を防いで流入をすすめるというもの。

《有害鳥獣対策》

【住　民】難しい話はよくわからないが、獣害対策をしようとすると猟友会に入らなければいけないようだ。行政が猟友会に代わるようなことをしていただくことはできないのか。よそ者に対する風当たりが強い。農業や獣害対策などにアクションをおこしても何もできない。この村で住み続けたいと考えるが、住みにくい。もう少し真剣に取り組んでほしい。

【農林課】法律上、そのような制度になっているからできない。村に限らず有害鳥獣対策は大きな問題であることから、制度見直しを含めて要望をしている。

《村民生活》

【住　民】信号の待ち時間だがどうにかならないか。

【住　民】短くなっている。改善された。

【住　民】警察に要望で何度かあげている。剣ヶ峯にあるレイクラインに繋がる信号は感知式ではないのに、なぜ蛇平は感知式なのか。逆ではないか。剣ヶ峯は通行止めなのだから感知器式でいいのでは。正式な回答がきていない。村から回答を求めてほしい。

【村　長】確認する。

【住　民】レイクラインだが、昨年の8月の雨で全面開通していない。見通しはどうか。

【建設課】猪苗代土木事務所に確認したところ、今年度中の開通を目指しているようだ。

【住　民】除雪体制、プラットフォーム、デジタルの活用とあるがどういうことか。村の HP は前時代的だ。検索しにくい。

【村　長】除雪はもっと住民目線にたった方法を考えたいもの。前向きに。プラットフォームとは、区長便はチラシなどを配布しているが、LINE などの SNS を活用してリアルに発信したいもの。若い方も紙媒体だと目にすることが少ないようだ。現代にマッチしたものを考えている。HP は現在リニューアルをしており、2月に公開をしたいと考えている。皆さんからの知恵を入れて見やすさ、わかりやすさを目指している。

【住　民】交流フェスタが HP に掲載されていなかった。情報を載せるということをもっとしなければいけない。杉並の情報も区の HP に載るが村の HP には載っていない。なぜなのか。情報をしっかりのせてほしい。

【住　民】マイナンバーカードを活用してコンビニ取得ができないが、そういうことを進めてほしい。ペンディングしてどうするのか。よくも悪くもならない。良い環境になるから人が来るのではなく人がいるから環境が整うということだと思う。主要なエネルギー産業であった炭鉱も町ができて学校ができて賑わったが、炭鉱がなくなれば人がいなくなく。人が集まるというところをもっと考えるべきだと思う。五色沼東エリア上質化を考えるのであれば、五色沼は多くの人が集まる場所。駐車場問題がでている。ここをもっとしっかりすべきではないか。バス停はなんなのか。雨もしのげない。懇談会やったからこれでいいというのは勘弁してほしい。利用されたように思われたくない。

【村　長】五色沼東エリアは国の満喫プロジェクトの中で、ビジターセンターと観光プラザを一面化してもらえないかをお願いしているところ。環境省が中心となってバス停を含めて整備をすることで進んでいる。バス停も無くなる予定。山側に公園をつくることを計画している。

○ 関屋・榁地区（10月21日（土）18：16～19：25）

《村の駅構想》

【住　民】北山には店が無くなった。買い物ができない状況。伊藤地元議員が議会だよりなどでも道の駅構想を話しているようだが、買い物ができる店や集まれるような施設があればもっと良くなると思う。子育て対策として地区の遊具の耐用年数が過ぎでいて、直せなくなったようだ。どうしていいかわからない状況。社会福祉協議会から遊具に補助を出すとのことで話したところ、業者から直せないと言われた。どうやら全ての地区がそのようだ。撤去してもいいがお金もかかるし、新たに作るとすれば財政も厳しいことからどうかと思うが、遊べる場は必要と考える。北山のどこかにまとめて設置頂けないか。

【村　長】村の駅は私の選挙公約の一つ。おっしゃるように昔は店が何店舗もあり、身近な日常生活を支えていたが、今はそうではない。身近なところにそのような施設があれば潤うと考えている。その一角には子供の遊び場を設置することを考えている。今の遊具は古くて断念せざるをえない。村の駅には子供が遊べるだけでなく、村民の交流の場を作ることも考えている。子供の声を聞くことで活気が生まれるように。

【住民課】社会福祉協議会の報告によると、これまで修理をお願いしていた業者ではなく、別業者に確認もらったところ、15 年で更新が通例のようだ。結果、修理ができないということ。区長おっしゃるように、今は安全安心を担保する必要あることから、行政区での管理ではなく、村が整備して管理するのがいいと考える。

【住　民】撤去はどちらでやるのか。ブランコも大きい。経費がかかる。検討いただきたい。

【村　長】基本的には管理は区になっている。区で撤去になるか。

【住　民】撤去した後、何もないのもさみしくなる。

【住民課】村が管理していないものに対して村が行うのは難しい部分がある。一緒に考えることはできると思う。

【住　民】補助事業で整備したものを勝手に処分していいものか。

【住民課】社会福祉協議会に確認する。

《情報発信》

【住　民】北塩原村を知らない人が多い。名前を知っていても場所が知られていない。村の魅力は災害が少ないこと。家を建てるなら災害が少ない PR が魅力になるのではないか。住むにはいい場所といった周知を。

【村　長】村を離れていた時に、県内の方でも北塩原村を知らない人が多かった。栃木県の塩原の北にある村と認識される。これまでの PR として、村でも裏磐梯を謳ってきたこともあるのかもしれない。今後どういうふうに PR するか考えていきたい。移住定住には災害が少ないは得点になる。水やコメがおいしいもその一つ。

【住　民】情報発信プラットフォームとデジタルの活用とは。

【村　長】区長便でチラシを配布しているが、スマホを活用することを考えている。スマホ教室を開催することで、確実に速やかに情報を届けられるようにしたい考え。

【住　民】高齢者が増えているとあるが、スマホの取扱いが難しい。勉強するにもその場所に行くまでに大変だと思うがどう考えるか。

【村　長】教室をやらなければ進まない。開催するにはどうすればいいかを模索して、改善しながら

進めていきたい。しっかり習得していただけるようにしたい。現時点で具体的な手法は示していないが検討していく。

【住 民】年をとるとなかなか覚えられない。デジタルという言葉にすら抵抗感がある。生涯学習センターの体育館などがあるが、利用状況はどの程度か。箱モノの利用。村の駅を作るとあるが、そもそも既存の施設の活用が気になる。

【教育課】村民体育館は、コロナが明けてから使用が多くなってきている。生涯学習センターはどちらかというと夏の合宿利用が多く、通常利用は少ない。

【副村長】公共施設全体の計画をつくっている。お金をかけて使い続ける施設、統合する施設、廃止する又は譲渡する施設といった分類をしており、全体を整理している。その計画にもとづいて改修するとしている。

【住 民】村の駅の構想の中で、鈴木家の売上が取り合いにならないかの視点は必要か。保育施設の充実としては、人数が増えたら上限はどこまで大丈夫かなども考える必要がある。

【住民課】現実的な部分から話せば、既存施設で十分対応可能であると思われる。定員を満たしていないことから喜多方市から通っている人もいる。幼稚園も一クラス 20 人定員であることから対応できる。

【村 長】商業施設については、既存店舗とかぶる部分もあると思われる。相手先と話していく予定。同じ形態にならないように選択ができるかを含めて。

《村の駅構想》

【住 民】村の駅の候補地はあるのか。整備は何年後か。

【村 長】構想としては国道 459 号沿いを考えている。これから地権者に打診する予定。なぜ北山かというと、北山・大塩で 1500 人。近隣の地域を含めれば 3500 人おり、日常利用での収益が見込める。国道沿いだと観光客の需要も得られる。売れれば農業従事者への可能性に繋がる。

【住 民】ぜひ早く実現してほしい。大きい施設はいらない。

【村 長】リオンドールに伺った経過がある。店は 200 坪でも駐車場は 50～60 台必要とのこと。そこに観光バスの想定や遊具の設置を考えれば、土地は広く欲しい。

《子育て環境》

【住 民】今、子供一人産むといくらか。

【住民課】1 人目 10 万円。2人目 20 万円。3人目 30 万円。
あらたに国の制度もはじまり、＋10 万円となる。

【住 民】結婚祝い金は？

【住民課】10 万円。

【住 民】10 万円では安いのでは、昔は 30 万円だった。

【村 長】お金では解決できる問題だけではない。独身の方に結婚願望が無い方も多いようだ。

【住 民】子育て対策は国も村も十分にある。子作りが問題。住む場所など含めて。

【村 長】親は子供に対して好きにしていいと言ってきた。昔は周りからは家督と言われた。家庭の中で帰って来いよという教育が薄くなってきた。

【住 民】今は高学歴。7割は大学に行く。地元に働く場所がない。働く場と定住する場が必要と考える。子育て対策は十分すぎると思う。村の駅だが、採算性、商売、物流などのノウハウが必

要。村直営では厳しいと思う。経営できる人が本当にいるのか。経営には公有民営や無償貸付など様々なパターンがあると思う。赤字になったら村の財政に響く。その辺を十分検討いただきたい。

【村　長】大切な視点。村にはノウハウがないことから、その辺も含めて検討しているところ。特に商品の管理は村ではできないと考えている。委ねるものは委ねるように。子育ては今の制度を含めて新たな対策を進めていきたい。例えば不妊治療に対する助成もその一つ。国にも制度があるがまだ足りない。

【住　民】松陽台の団地を造成した時に、当時は売れるかが懸念された。結果、人を集めることができた。そのような成功体験もある。その辺も加味しながら進めていただきたい。

【村　長】寺ノ前を整備するに、子育て世帯に対して、アンケートをした。その結果 13 件が建てたいとの声があった。村で造成すればお金がかかる。村はそのようなアンケート結果も含めて事業者対して土地を売却し、事業者に造成をやっていただくことで、経費も時間もカットできた。早く進めることが大切。

【住　民】寺ノ前の日照が気になる。一方で関屋の眺望は素晴らしい。

【住　民】我々は見晴らしのいい場所にすんでいるが、好みは様々。値段が安いことを魅力としている人もいる。

《住宅整備》

【住　民】人口増やすには住宅が必要。村営住宅の空きが多いようだが、今後どのように進めるのか。

【村　長】条件緩和や用途廃止について国と協議しているが、進まないのが現状。村の条例を変えても無理。今は目的外使用という方法で、４戸入ってもらえるようになった。地域おこし協力隊が入る予定。まずは埋める作業を進めている。国の期限が過ぎれば用途廃止で進めていくしかない。

【住　民】磐梯町は違うようだが。

【建設課】リースで建てたものと考えらえられる。補助が入っていなければ制限はない。

《ラビスパ裏磐梯》

【住　民】ラビスパのアンケートの結果が知らされていないのでは。

【村　長】広報で知らせている。アンケートの結果、53％は続けてほしいとの結果だった。それを踏まえて、今後の活用を含めた大規模改修を予定しており 10 億円かかる見込み。実施設計を進めているところだが、人口減少が大きな課題であることから、一旦保留とし、住環境の整備を優先したい考え。ラビスパは継続にしてもやめるにしても課題が多岐にわたる。それらを整理したうえで判断していきたい。

【住　民】やめるならやめてそのお金を別に振り返ればいいのではないか。47％は存続しなくていいということ。無理して 10 億円をかける必要はないのではないか。村が優先してするべきことに投資してほしい。

【村　長】ご意見として承っております。

《その他》

【住　民】喜多方では生活応援商品券をしているが村はあるのか。

【村　長】現在検討している。昨年は 25,000 円のクーポンを行った。燃料も高騰していることから

対策を講じていきたい。

《有害鳥獣対策》

【住　民】鳥獣被害対策として緩衝帯の整備をしたようだがその結果はどうか。

【農林課】昨年は大久保地区で実施した。きれいに間伐がされ、効果が出ているようだ。この制度をしっかり使っていきたい。地域の同意が得られたうえで村に対して要望が出てくればやりやすい。

【住　民】サルとイノシシが多い。結果がよければ依頼したい。

【農林課】村の捕獲数が県内トップクラス。喜べる数字ではないが、実施隊の方が頑張っている証拠。

【村　長】村には緩衝帯整備をする用意がある。ぜひ、地区の中で地権者の意見をまとめていただければ、スムーズに進められる。

○ 桧原地区(10月27日(金)19:14～20:42)

《村の駅》

【住 民】村の駅整備と初めて聞いたが、詳細を聞きたい。

【村 長】村内で買い物ができるところが少ない。現在、官民連携で住宅用地の整備を計画している。住宅地が無いことから流出した方も多かったことから、流出防止と新たな定住人口の流入を目指している。その中で、買い物、交流、遊戯などができる複合施設を整備することで、安心して地域で過ごすことができる施設として、村の駅を考えているもの。

【住 民】北山のどこにつくるのか。誰が買うのか。順番が違うのではないか。予算はどの位か。村にはそのような予算を組めるお金は無いのではないか。財政調整基金もない。

【村 長】6～7億円になる予定。

【住 民】村の振興計画に挙がっていない。つまり補助金が使えないということではないか。なぜ北山地区なのか。作るなら買い物するところがない桧原地区ではないか。又は、旧セミナーハウスと活用した老人福祉施設を整備するなど。

【村 長】順番が違うということはない。住環境を整備して流出防止と人口流入を進めたいもの。

【住 民】職員でさえも他自治体に建築している。

【村 長】それを防ぐためのもの。

【住 民】批判ばかりでは何にもならない。良くなる方向性で考えるべき。前向きな意見をするべき。確かに減少している。桧原でも減少しているが、役場のせいではない。人口減少は致し方ないこと。行政が考えてほしいのは、他から人がきて住めるような環境づくりと、北塩原村の知名度を上げること。北塩原村は認知が低い。裏磐梯の方がネームバリューがある。古民家についてもこれまで何度も協議してきたが、役場が先導に立ってくれないと建物は悪くなるだけ。格安で貸すなどそのような対策を進めてほしい。子供がいない地区にバスが走っている状況。スタートが遅い。子供がいる時代に欲しかった。人が入ってくるような施策を願う。空き家になった物件にすぐに人が入るような取組み。10 年すぎたらあと何人残るか。その時に家が維持できるか。桧原地区にとってはそれが一番喜ぶ方法。

《人口減少対策》

【村 長】移住コーディネーターを採用して空き家調査をしている。空き家に対して人が来られるような施策を講じている。国からの助成を活用しながら進めていきたい。

【住 民】村長が以前議員だったころからしている。調査だけで何も進まなかった。

【村 長】以前は地域おこし協力隊がやっていたと承知している。今度は確実に空き家の利用に繋がっている。必死に取組んでいるところ。桧原地区にある物件をどのように発信していくか。村の HP に空き家バンクを掲載し、以前より見やすく改善している。北塩原村の知名度アップをどうするかは広告宣伝の柱として進めていきたい。

【住 民】北山地区と桧原地区では空き家の考え方が違う。一冬だけでも雪下ろしをしないとつぶれてしまう。雪下ろし協力を組織化して空き家を守るようにしてきたが、役場からの応援はなかった。逆に足を引っ張られた。村で一回でもいいから雪下ろしをしていただけると助かる。桧原地区住民では高齢化で協力ができない。そこをなんとかしないと桧原の空き家は守れない。

【住 民】桧原の世帯は 20 件ほどあるが、現在は祭りもできなければお盆も何もできない。出てい

った息子たちは固定資産税に苦慮している。長男は別の地域に家を建ててしまっている状況。帰ってくる見込みはない。10 年経てば人がいなくなる。さらに行事が成り立たなくなる。80～90 歳が多い。どうにもならない。人が来るかもわからない。

【村　長】そういう方であれば、村の空き家バンクに登録してもらう。家財道具があることも課題。現状で売りたいと言っても仏や神棚などで手をつけられないこともある。そこの協力をいただけると助かる。今年は、あらたにバトンタッチ事業を実施した。このようなニーズがあれば進められる。問題は家財。屋根の雪は所有者責任になることから手を出すのは難しいか。

《村の駅構想》

【住　民】村の駅は反対。北山からヨークベニマルの看板が見える。桧原歴史館のような売り上げがあがるならいいが。私は喜多方市の「てづくり市くまさん」という直売所で野菜を購入しており、そこが安い。その後、何件か巡って、最後にヨークベニマルに行く。スーパーは高いからあまりいかない。一度見ていただきたい。北山・大塩地区の人が当番制で組合などをやればいいか。もう少し考え方を変えては。空き家調査の実績を聞きたい。

【総企課】空き家バンクを平成 28 年から運用している。村では改修と解体の補助制度を運用しており、毎年数件の利用がある状況。加えて、今年度よりバトンタッチ事業を実施している。

【住　民】解体する制度を知りたい。

【総企課】最大 50 万円。補助率1/3。

【住　民】買い物に行けない人が桧原には増えてくる。生協からの宅配を使っている人もいるが金額が高い。1.5 倍か。昔は行商などもあった。行政の補助制度があるといい。車でいけないようになってしまう。又は村が貸借するか。バスで行くにしても接続が悪くて一日かかる。医者に行く人や買い物に行く人が午前で帰って来られるようになどニーズにあった運行をしてほしい。誰が乗るのか、目的はなんなのか。無駄な運行にお金をかけるなら、宅配のほうがいい。

【村　長】村の駅の考え方には移動販売も構想としてある。高齢化社会は進んでいく。北山地区だと近隣からもくる可能性が高い。経営の視点から有利。それに加えて、桧原地区の方用に移動販売を進めていきたい。

《子育て環境》

【住　民】認定こども園の整備は見直すとあるが、白紙になるということか。

【村　長】保留にしたいということ。これまで検討委員会で検討願ってきたが、財政面などから考えると子供が少ないことから成り立たない。蛇平に若者住宅を整備している。ニーズを踏まえて、認定こども園、又は違った形態での整備を考えている。

【住　民】当時は、子育て世帯の状況を踏まえて整備することとしていた。裏磐梯にできれば環境が変わってくるのではと期待していたが残念。村の駅が北山にできて桧原の人はありがたいかが疑問。北山まで行くのであれば喜多方に行く。お金を使うのであれば、空バスを走らせていることをどうにかしてほしい。大きなものをつくれば成果は見えるが、住んでいる人の生活改善にもっと注力してほしい。雪を片付けることが嫌になれば人はでていく。今生活している人は、何が不便で何を求めているか細かく吸い上げてほしい。桧原は忘れられていると思えてしまう。五色沼の上質化は観光客に視点を向けるのはわかるが、結局桧原は蚊帳の外。不安しかない。10 年後暮らしていけるかが不安。長い目で構想を含まら

せることも大切だが、目先のことも何とかしてほしい。冬は住めないと都会の方は言っている。保育園の留学制度で夏の間だけでも村の子と遊ばせるとかも聞いている。小さいことも含めて考えてほしい。

【村　長】公共交通については、桧原から道の駅のコミバスを走らせているが、桧原地区の方が喜多方にいくのに不便との実情を反映したもの。結果として乗車している人がいないのであれば廃止も可能。公共交通の再編も必要と考えている。時刻については、電車との接続なども考慮している結果。バスについてはいろんな地域から意見をもらっている。決してないがしろにしているわけではない。地区の方の声を村としても真摯に受け止めながら進めていきたい。きめ細かな除雪体制についても、これまでの体制でいいのか内部で調整している。高齢者の除雪問題を含めて考えている。以前、地元議員からもそのような視点での意見もいただいていた。その辺も含めて検討している。

《旧明大セミナーハウス》

【住　民】なかなか難しいと思う。財政は厳しい。なるようにしかならない。人口減少を問題として考えても仕方ない。長男がいないのが現状。観光客が桧原にもくるように温泉、食堂、ふれあい広場のところに小野町のように桜を植えてはどうか。名所になるように。村長も何期やるかわからないが、ここに書いてあることがやれないで終わるのでは。セミナーハウスもあのままにしておくのか。あれを利用してはどうか。スノーパーク、キャンプなど。確かに維持費がかかる。テレビ入れたが電気が入っていない状況。何か考えられないか。

【村　長】セミナーハウスについては企業数社に見てもらっているが、結果として進めていない状況。先日も点検をしてきたが、老朽が激しい。体育館の活用は考えられる。

【住　民】1億円近くかけて直したと聞く。老人ホームにしてはどうか。

《道路整備》

【住　民】昨年の8月の豪雨で路面が流されてそのままになっている。建設課はみているのか。砂利だけでも敷いてほしい。

【住　民】それは自分たちでやらないといけない。

【建設課】その当時区長からお話は聞いている。区で実施するのであれば現物支給するのでとお願いした経緯がある。

【住　民】あれだけの面積だと地区では手に負えない。

【住　民】今、大川入川の河川を工事しているが、下流部の方でも土砂が堆積し畑に水が上がり畑にも水が上がったが、災害当時確認したのか、今年は確認に来たけれども。

【住　民】現場をしっかり見てほしい。

【住　民】工事は上流部で実施しているが、下流部では土砂の堆積がある。確認はしたのか。来年春になったら間違いなく水があふれる。林の中が川になっている。漁協にも被害が出てくるかもしれない。

【建設課】今ほどの話については、確かに 20 年前 30 年前と比べると川底が土砂の堆積によりレベルが上がっており、農地と河川に高さがなくなってきており、今は同じレベルとなってきているので、一度にはできないが、浚渫工事を計画的に進めていきたい。

【住　民】考えただけではだめ。やるべき。

【住　民】桧原、金山間のすれ違いが不便。毎年議員に言っている。ひとつもやらない。

【建設課】県においては橋・トンネルを整備することとしている。現在は詳細設計をしている。その後、実施設計を行い実施となることから時間がかかる。県においては、今、木の枝の伐採などを行って通行しやすいようにした。今後も引き続きトンネル工事含めて少しでも早くできるように要望しているところ。

《集会所・旧明大セミナーハウス》

【住　民】桧原の集会所は多目的となっている。集会所のほとんどが使用料を払っていないところもあれば、地区で管理しているのも数件ある。桧原は高齢化で人が少なくなっている。多目的ということで福祉関連でも使うが、無料で使われると地区の負担が増えている。施設利用している出店者も負担している。他の地域と同じようにするために村でも負担してもらうことはできないか。消防屯所は村が支払っている。剣ヶ峯は使用料がかからないと聞く。同じ集会所なのだから同じ扱いをしてほしい。当時の経過はあるとは思うが、最低限の補償を願いたい。選挙でも使っているが役場は使用料を払わない。ここの地区の避難場所はセミナーハウスとなっているがライフラインが止まっている。仮設トイレをつければ使用は可能。そのようなこともしないのに避難場所と設定するのはどうなのか。入れない、トイレもない、電気もないのに。以前、当時の総務企画課長（現副村長）に言ったが何にもならない。できないのであれば避難場所を変えるとか。

【住　民】避難場所に毛布や水があるのかを聞きたい。現実問題として、年寄りを抱えて毛布などの荷物をもって移動は疑問。あそこまで年寄りを連れて非難するのは困難。

【副村長】集会所は行政区ごとに異なるのはご指摘のとおり。無い地区、自前で持っている地区、村が建てて管理を区に委託している地区など。村が事業として使っているのであれば、村としての応分の負担だが、灯油などは村で持参するなどを考えていきたい。避難所のトイレについて調査した。玄関に受水槽があり、村の水道水と井戸水を併用していると聞いた。その点が課題として挙がっている。

【住　民】以前やると言っていた。調査の問題ではない。その時やらないから問題になっている。

【住　民】体育館に仮設トイレを作って、接続すれば使えるはず。

【住　民】避難場所からはずしてはどうか。

【住民課】飲料水を桧原出張所に配置している。適正に管理したいことから、その他の備蓄品は生涯学習Ｃに配置しプッシュ型で配送する仕組み。現在は自分の命は自分で守るのが原則。地域の方、離れている家族を含めて。村が避難所に持参してくださいというのは、必要な着替えなどを含めて持ってきてもらうことを原則としているから。ホテルではないのでご容赦願う。公共施設を避難場所としているが旅館組合と協定を結んでいることから、長期に渡る場合はそちらへの移動を考えている。セミナーハウスなどの避難所は、あくまで数日の避難場所として設置している。マンホールトイレの整備なども考えられる。今年から段階的に家庭でも使える凝固式のものを整備していきたい考え。トイレの不安解消に向けて。

【住民課】ある程度集まれる場所としてセミナーハウスとしているが、実際には区長らと話して、職員が先に向かって鍵を開けることとしている。

【住　民】鍵はだれがもっているのか。

【住民課】本庁で管理している。大塩でも同じような質問があったが、土砂災害警戒区域として桧原地区が広く指定されている。危険が伴う場合は、ここから出ることも必要。ケースバイケースで考えていきたい。

【住　民】8月災害時にセミナーハウス付近は土砂で車が通れなかった。安全だと思わない。あそこは昔から少しの水でも災害になる地域。それを考えれば避難所の設定がおかしい。

【住　民】セミナーハウスの地下に軽トラや農機をいれさせてもらいたいがだめか。

【住　民】昨年は他県のナンバーのものがたくさんあったからだ。

【住　民】公共施設だからダメとの見解。その後の話の中で、地区の方が止められるように願いたいということを要望したい。

【副村長】他の地区を考えたことを踏まえると、公共には個人のものを入れることができないというのが原則。

《その他》

【住　民】9月広報表紙がなぜ優勝した第3分団ではなく第1分団なのか。桧原・金山間の道路を早くなぜやならいのか。霜注意報の防災無線が 10 月 12 日に北山大塩だけ流れて、桧原はなぜ流れなかったのか。

【住民課】広報写真はその時の表情などで選んでいる。第3分団が優勝したことを記事の方で紹介。

【建設課】当時の村議会や地区の要望を踏まえて行っていると認識している。引き続き要望を行っていきたい。

【農林課】本来秋口の注意報は流さない。春は県が本部を設定してそれを踏まえて自治体が本部を設置して放送を行う。桧原には放送していると思っていたが、確認してみる。

○ 両川前地区（10 月 31 日（火）19：15～20：26）

《村の駅構想・ラビスパ裏磐梯》

【住　民】各行政区を回ったと思うが、ラビスパと村の駅についてどのような傾向だったか。

【村　長】ラビスパについては、あまり意見がでなかった。存続を希望する方も一部いたし、いらないという方もいた。大規模改修を見直したいということに理解された方が多いと感じた。村の駅についても賛否両論。裏磐梯地区では身近に欲しいという意見。一方で、北山・大塩では村全体を考えた時にいいのではという意見。喜多方に行く環境があるのになぜ整備する必要があるのかという意見もあった。これについては、車で買い物に行ける方は必要ないと思う。今後、高齢者を考えた時に必要と思っている。北山地区に住宅を建てた時に若い世帯が住むときに住環境が充実すれば選択される地域になる一つの材料になると思っている。今の生活の利便性を向上させることと、新たに来る方が村を選んでいただくために進めていきたい。

【住　民】ラビスパを存続するのであれば、10 億円かかるとのこと。公債費比率が 14.5%とあり、ラビスパの大規模改修をすれば 16%になり、警戒水域になると思われる。全国の平均は7.5%。村は2倍以上。村の駅をどの程度見込んでいるか不明だが、整備すれば同じようになるのでは。その前に住環境を整えるというところで、第二の松陽台を作って人口を増やしてはどうかと個人的に村長に話してきたところ。その方が人口を増やすのに早いのでは。塩川の御殿場には家が建っており人口が増えている。塩川小学校が多くなってもう来ないで欲しいとなっているとのこと。どうして御殿場に集中しているか考えたことあるか。働く場所は若松や喜多方に分散している。30 分圏内で移動ができるから便利なのかもしれない。村職員も御殿場に行っているようだ。第二の松陽台の整備を早くやってほしい。当時、副村長は松陽台整備に携わってきたと思う。村長に意見を述べるべきではないか。上川前に子どもがいない。下川前に2人だけ。深刻な問題。セブンイレブンの移動販売車と契約して、村内を回ってはいいのではないか。その方が早い。

【村　長】住宅の建設を寺ノ前で実施している。村有地だったことから民間に売った。造成経費が高い。民間の力を活用することで、村はお金をかけないで進めてきたところ。

【住　民】それはいいこと。ただ、一般業者に売ったようだが、村が介入できるのか。火に油を注ぐようなもの。お金はかかったとしても村で開発した方がいいのではないか。これまで村長の支持者としてこれまで活動してきた。国会で岸田さんに世耕さんが苦言を呈した。私も一緒。村長は国に行ってお金を集めてきて、副村長がそれを考えればいいのではないか。そのくらいやってほしい。村長選挙まで9か月足らず。公約したことをしなければ誰が支持するのか。必死で応援した私が言っている。真剣に考えてほしい。国に行けばいろんな町村とも交流できるはず。

【村　長】真剣にやっている。ありがとうございます。

《子育て環境・住民生活》

【住　民】子育て支援に興味がある。子育てとは子供ができてからのこと。子づくり支援もぜひやってほしい。イベントなどでの出会いの場が少ないと感じている。安心して出産できる体制とは。会津の産科が減っている。不妊治療に対する助成金の体制は。

【村　長】男女の出会いは大変難しい。村内で集めても誰も来ない。村民に見られたく無いようだ。

西会津では昨年、穴釣りを出会いの場として実施したところ人集めに苦労したようだ。喜多方広域で定住自立圏を構成しており、村民の目につかないようなところでどうするかというのを悩んでいるところ。やらないわけではないがそのような視点ですすめていきたい。不妊治療については R6 に事業化を検討している。国にもあるがそれだけでは不足している。独自施策を検討しているところ。

【住　民】人を呼ぶことよりも、実際に住んでいる人、高齢者が村に住んでよかったと思えることが大切。リフォームに補助を出すなどで、子供が一緒に住めるなど人が残るような対策を。出ていく村に人は来ないと考える。今いる人をいい村だと感じてもらえる方向に。ラビスパも作った時は時代の流れ。流れとともに考えは変わる。10 億円をかけるなら、住んでいる人が喜んでもらえるお金の使い方をお願いしたい。

【村　長】住宅だけでなく、公共交通や除雪体制についても考え方を変える必要がある。これまでのことがあたりまえではなく、今のニーズにあったやり方。R6 の新規事業をいろいろ考えている。前に進むようにしたい。

【住　民】今の意見は大切。本当に住みやすいなら誰も出ていかない。いいところだと思っていれば尚更。なぜ出ていくのか根本的な要因を探る必要がある。私も喜多方から来た。一番大変なのは雪。難しく考えずに、今困っていることを解決する方法。村の駅は北山に作るとのこと。北山は雪が少ない。高齢者の交通対策を充実するなどもいいのではないか。少しずつでもいいので解決をしていってほしい。

【村　長】R4 の転出は多かった。裏磐梯のホテルの経営者が変わった関係もある。転入は 83 名がいた。ホテル従業員だけでなく、村がいいと思って移っている方もいる。来られる方も魅力を感じて、住んでいる方も魅力を感じられる視点を大切にしたい。

【住　民】子育て環境の整備とは具体的にどのようなことか。

【村　長】一つは公園。遊び場を作ること。村の子育て中の職員に聞くと、若松や磐梯町に行くようだ。そのような点から、環境がいいと思えない。気軽に遊べる環境。買い物している間に遊べるような場所づくり。子育て支援の拡充としては、学校給食無償化をしたところ。これも他の自治体を見ると右ならえとなり、村の支援メニューが新しくない。少しでも村として考えられるものは無いかと検討している。財源としては、ふるさと納税を考えている。私が就任時は 600 万円だった。しかし、昨年 6,000 万円になり、今年は1億円になりそうだ。財源をつくって支援をしていきたい。

【住　民】認定こども園の整備だが、村内に幼稚園が2つある。近辺ではこども園になっている。人数の規定もあるようだが、この認定こども園はどこに整備する予定か。

【村　長】認定こども園については見直しをしたいというもの。当初裏磐梯地区への整備に向けた検討委員会を進めて答申をもらった。ただ、子供の人数の観点から見直したいというもの。今後、子供さん方が増えるなど環境が変われば再度検討するというもの。

【住　民】大塩地区で子育てをしてきたものとして遊ぶ場所がないと感じた。生涯学習 C で遊んだが古い遊具など整備されてないとこで遊んでいた。そのようなところに遊び場をつくるのがいいのではないか。大塩の子どもが生涯学習 C で遊ぶには車で自転車を運んでいるのが現状。子供達だけで移動して集まって遊ぶ場所が大塩にないと感じた。歩道の整備がないからだと感じる。喜多方市内で子供が遊んでいるところをみると歩道の幅や高い縁石があるなどの環境があるからと思えた。歩道の幅を確保するのは難しいと思うが、そこに住んでいる人が自分たちだけで遊べるようになれば、大塩地区の環境整備としてはい

いと思う。

【村　長】国道であることから、要望をしていきたい。

【副村長】歩道は通学路という位置づけが無いと整備されにくいという現実がある。

【住　民】川前から歩いて遊びに行くのに、獣の心配があり一人で歩かせられない。獣は何とかならないか。安心して歩けるような環境を願いたい。

《有害鳥獣対策》

【農林課】今年はクマがひどい状況。村では 75 頭捕獲している。川前は電柵がしっかりしており、他の地区よりも安心できる環境。実施隊の高齢化が課題。捕獲する人を増やして人里に現れないような環境づくりをすすめたい。

【　村長】村としても大きな課題として捉えており、専門職員を 3 年前から採用している。他の自治体よりも先行している。サルに発信機をつけて生息地を調査などもしている。引き続き進めていく。

【住　民】先日も中瀬沼に出て問題になった。都市型になって山に戻らないようだ。村でもハンターや罠の資格を取ってやっているのはわかる。急に現れたときに、警察の許可がとれないと撃つことができないようだ。そのような部分も考えていくべきではないか。

【商観課】ビジターセンターで google マップを使い情報収集してマップ上に出没情報を表示している。中瀬沼は環境省の所管。カメラを設置して定期的なチェックをしている。人身事故があったことから、ホテルと連携してクマの情報、性格などを利用者に伝えるようにパンフレットを配布している。

【農林課】現状はクマが出た時は村長決裁で罠を仕掛けられるようになった。以前は県許可で難しい状況だった。H24 頃から出没が非常に多くなり県と協議して村長許可でできるようになっている。撃つのは警察の許可が必要。北海道ではそれが原因で資格剥奪などもあったようだ。

【住　民】国道だから歩道整備が難しいのはわかるが、単なる意見ととらえずに、意見に対してしっかりアクションをとってほしい。意見がでるのは困っているから出ている。歩道ができないのなら何かしらできる対策をするなど。そのような積み重ねが住みよい村になるのだと思う。お金もかかって大変だと思うが、その積み重ねが大切と思う。

《情報発信》

【住　民】村ではツイッターやインスタ、YouTube はやらないのか。

【総企課】FB とツイッターはやっている。次年度に向けて HP のリニューアルをしている。できればその他の SNS に対応するように考えている。

【住　民】村の HP は基本見ない。どちらかといえば SNS が多い。

【村　長】今はスマホの所持率が高い。スマホ教室をしながら情報を得られるようにしたい。

【住　民】若い人を呼びたいなら SNS。E スポーツも取り入れてはどうか。

【村　長】先日の交流フェスタで初めて体験した。大変楽しかった。

《教育環境》

【住　民】裏磐梯小中学校、さくら小、一中ともに子どもが少なくなっている。裏磐梯は複式。さくらもギリギリ複式にならない状況。義務教育学校にする考えはないか。統合は問題が多い。

【教育長】9年生の義務教育学校が会津若松市内にある。義務教育学校にしても教員定数は増えない。現時点においては、メリットが少ない。

【住　民】人口増しかないか。住環境を願いたい。

《その他》

【住　民】柳津ではポケモンのオブジェのような遊具が公園にある。変なものをつくるより、そっちの方が人気があるのではないか。子供にとってとてもいいと思う。村のいろんな場所に設置するとか。

【村　長】ポケモンのマンホールを裏磐梯に設置した。それ目当てに人がくるようだ。

【住　民】スマホの画像投稿システムを喜多方でやっている。一般の人が通報できる仕組み。

【建設課】そのような話は伺っている。確認したい。

《高齢者福祉》

【住　民】10 年後を見据えた現状を捉えた方がいいと地域おこし協力隊に相談し、アンケートを取りまとめた。（資料の説明。）川前は雪が多く降る。北山の3倍くらい。高齢者、又は伴侶と死別した時に一人で住めない。そうすると出ていくしかなくなるのが現実。施設に入るか子供のところに行くか。年齢推移をみても 10 年後は集落として成り立たないと考える。松陽台や北山は働きに出やすいが、川前は除雪をしとかないといけない。

【住　民】集落の皆さんが話し合うきっかけになればいいのではないかと思い、資料をつくらせてもらった。

【住　民】北山地区に高齢者が入れるような施設があればいいか。

【住　民】私も同じ考え。子供が都会にいった。私一人だけ残ったら不安を感じている。除雪機械を使えない。運転も難しい。国道から離れており、バスも無くなったら困る。子供がいる家庭にはそのような不安がないと思うが、私を含めてどうすればいいのか。共同生活をしながら助け合える施設があればいいのではないか。学校跡地を住宅にするとか。老後の安心。

【住民課】一人暮らし向けの高齢者住宅として北山に 10 人分確保している。社協に相談いただきたい。入居することも可能。入っている方がリハビリや買い物、調理などをできる。除雪サービスもあり社協に委託している。玄関から道路までで、屋根の落雪には対応していない。高齢者世帯に無償で実施している。買い物の運転の不安だが、隣近所で助け合って一緒に行くなど支え合いをしている地区もあるようだ。

【住　民】社協の除雪は 70 歳以上と聞いた。私は一人暮らしの 66 歳。70 歳以上でないとだめか。結局はここにいれないとなる。

【住民課】確認する。